

福井県立大学

Fukui Prefectural University

2025
大学案内
CAMPUS GUIDE



〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL. 0776-61-6000 FAX. 0776-61-6011
<https://www.fpu.ac.jp/>



WEBサイト X Instagram Facebook



CONTENTS

福井県がまるごとキャンパス 04

学長からのメッセージ 05

恐竜学部(仮称)新設予定 06

学部等紹介

●経済学部 10

●生物資源学部 20

●海洋生物資源学部 30

●看護福祉学部 40

一般教育 50

大学院 54

研究所等 58

国際交流・留学サポート 62

キャリアサポート・就職支援 64

CAMPUS LIFE

クラブ・サークル紹介 68

永平寺キャンパス 70

あわらキャンパス 72

小浜キャンパス 74

かつみキャンパス 76

学生生活サポート 78

DATA

沿革・組織図 80

入試DATA 81

大学DATA 82

ACCESS MAP 82



『360° VIEW』で
施設を体感！

スマートフォンを使っ
て大学内の施設を
360度全方位ビュー
で体感できます！

2025年4月

(仮称)
恐竜学部
新設予定

詳しくは

P06

※設置認可申請中のため変更となる場合があります。

2025年（令和7年）4月

恐竜学部（仮称）新設予定

Faculty of Dinosaur Paleontology

恐竜・地質学科（仮称）

オール福井、すべてが学びの場

恐竜学部では、福井県の豊かな自然を活かし、県を代表する恐竜や、地質・古気候学などについて学びます。また、学術研究拠点として、恐竜学や地質学に関する人材育成・研究を進めるとともに、我が国のオンリーワンの学部として、福井県をより一層盛り上げます。

恐竜学部の
最新情報はこちら



恐竜を含む古生物学や地質学の教育・研究を通して
現代社会の諸課題を探索・解決できる人材を養成します

Dinosaur



恐竜の世界を探ろう！

恐竜学部長(予定者) 理学博士 ^{にし ひろし} 西 弘嗣 教授



地球温暖化による自然災害など現代社会の地球科学諸問題は、地球史において繰り返し起こっている自然現象です。地球の歴史を知ることは、我々の未来を予測することにつながり、人類社会の持続性に関係しています。

福井県は、30年以上にわたり恐竜化石発掘・研究を推進し、恐竜時代の環境の解明を行っています。さらに水月湖の年縞や東尋坊など日本列島形成史を物語る地質遺産もあり、地球の歴史を知ることのできる重要な場所です。このような恵まれた環境を活かし、恐竜を含む古生物学や地質学を学ぶことができる「恐竜学部（仮称）」を設置します。

学科／コース
(入学定員 30名)

恐竜学部
Faculty of
Dinosaur Paleontology

恐竜・地質学科
Department of
Dinosaur Paleontology and Geology

恐竜・古生物コース
地質・古環境コース

恐竜学部（仮称）新設予定

カリキュラム＜教育課程＞の特色

「恐竜学部（仮称）」では、地球科学の基礎のほか、古生物学や地質学を中心に学びます。

01 福井県立恐竜博物館との連携

「恐竜学部（仮称）」設置に伴い開設予定の勝山キャンパス（仮称）は恐竜博物館に隣接するため、施設の相互利用などを通じた物的資源の連携や研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有を行って、博物館と一体化した新しい教育・研究システムを目指します。



02 フィールド科学の実践

古生物学や地質学を含む地球科学では、地層や岩石に記録されている情報を現場で読み解き、論理的に考察しなければならないため、フィールドワークにおける現場での地層や岩石、地形の観察を重視します。福井県には、古生代～新生代までの地質遺産が分布しており、身近な自然の中でのフィールドワークが可能です。また、県内だけでなく県外へも視野を広げ、思考力や判断力、情報収集のスキルを学びます。



03 デジタル技術を活用した新分野の展開

「恐竜学部（仮称）」では、従来行われてきた古生物および地質学調査研究を行うだけでなく、最新のデジタル技術を活用し、古生物・地質学をさらに発展させていきます。大型CT撮影装置をはじめとした機器を使用して、多様な形や大きさの化石や地形をデジタル化し、それらのデータを活用した新しい教育・研究を行います。



想定される進路

卒業後は、古生物や地質学を中心とした地球科学の専門知識を活かして、以下のような幅広い業種で業務に従事することが想定されます。

- 博物館学芸員、研究者、教員（理科）
- 公務員（土木）
- 地質・土木・建設産業
- 環境アセスメント産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業（測量に関する地質系のデジタル技術産業など）
- 大学院進学



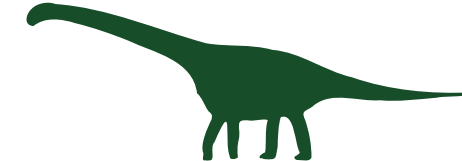
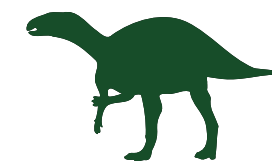
取得可能な資格

所定の単位修得（選択制）により、下記の免許・資格が取得できます。

- 高等学校教諭一種免許状（理科）
- 測量士補
- 学芸員



上記は設置認可申請中の内容のため変更となる場合があります。



恐竜・古生物コース



教育研究紹介



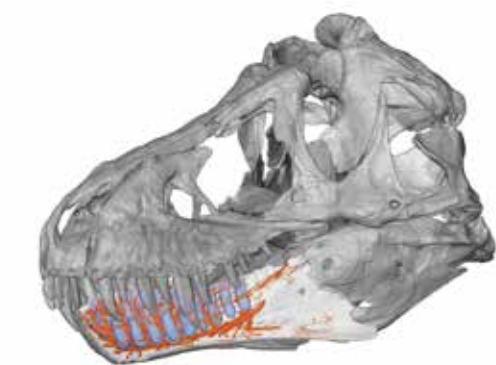
古生物の奥深い謎に挑む、恐竜研究の興奮 世界を見据える知識の源泉へ

恐竜研究は、ここ数十年で飛躍的に進歩し、新種や恐竜像が日々更新されています。それらを理解するためには、古生物学の幅広い知識が必要です。そのため、1年次は、「古生物学概論」や「地層学」などで生命の進化や恐竜について幅広い基礎を学び、2年次では、発展的な古生物学の授業に加え、研究への入り口となる発掘や化石クリーニング実習を行います。また古生物学の研究はボーダレスです。将来、研究を深めていくには、国際的視野を持ち積極的に海外へ出る必要があります。そのため、外国人研究者による授業を取り入れ、海外における発掘調査や現地での研究者や学生との交流も予定しています。このように4年間を通して、体系的知識を身につけ恐竜・古生物を理解し、多様な実習から協働性・国際性を養います。

恐竜を通じて世界へ目を向けてみませんか？

恐竜の秘密を解き明かすデジタル技術の革新 化石の微細構造を可視化

恐竜の研究は、単なる発掘作業だけで完結するわけではありません。化石を発見することは、その始まりに過ぎません。発掘された化石から、恐竜たちの生態に関する興味深い情報を読み解くことが、彼らの生き様を解き明かす重要な一歩なのです。特に、その化石に残された解剖学的特徴を綿密に調査し理解することは、動物としての恐竜像を明らかにする上で不可欠です。この解剖学的特徴を調査するために、欠かせないのが最新のデジタル技術です。近年、CTスキャンやレーザースキャンなどのデジタル技術が発展し、古生物研究に革命をもたらしました。このようなデジタル技術によって、化石の内部や外部の微細な構造を可視化し、詳細に分析することができます。恐竜・古生物コースでは、デジタル技術の基礎から始め、実際の研究に役立つスキルや知識を習得します。ここで得られるものは、古生物の研究に役立つだけでなく、様々な他の分野でも活用することのできる経験にもなります。



地質・古環境コース



教育研究紹介

化石が含まれる「地層」のしくみとは… 一緒に外に飛び出し、調べよう！

今生きている生物はどうやって化石になるのだろう…考えたことがありますか？化石に残る生物は生物全体の一部であり、私たちが目にして掘り出す化石はそのまた一部です。化石を含む地層は、長い時間をかけ複雑な過程を経て、私たちの目の前に現れます。地質・古環境コースでは地層中の「限定された過去の記録」を可能な限り多く引き出すため、野外で実際の地層を観察し、情報を得る手法を丁寧に手厚く学びます。

1年次の「地球科学フィールド実習I」では福井県内、2年次の「地球科学フィールド実習II」では県外の地層の野外観察・調査をドローンや3D測量機も駆使して行い、地質調査の実践力（観察する力・考える力）を養います。化石生物の正体、大昔の環境、時代推定の手がかり…これら未知の情報を含んでいる「地層」をどう調べるかを学ぶことはワクワクするほど楽しく、またその経験を実社会へ還元する力も身に付きます。



恐竜時代から現在までの地球環境を 最先端技術で料理する

恐竜や大型生物の化石だけじゃない、地層にはいろんなものが含まれています。近年の分析機器・観察技術の著しい進歩は、微化石や有機分子化石、鉱物を調べることで、地質時代に正確な時間目盛りを入れることができるようになり、30年前には考えられなかったほど具体的な古環境がわかるようになってきました。

3年次の「地球化学実験」では最先端の分析機器であるIR-MASSによる同位体比分析、バイオマーカー分析などを通して、過去の地球環境を生々しく復元します。1本の細いボーリングコア試料からでも、100万年前の海水温や1億年前の陸上の植生が復元できるなんてすごいと思いませんか。このような先端機器を用いた分析技術の習得は、今後の社会でさらに重宝されていく能力です。



上記は設置認可申請中の内容のため変更となる場合があります。

経済学部

Faculty of Economics



経済学科／経営学科

自らの進路を切り開くことができる 自立した個人になる

経済学・経営学を学ぶことは、社会を冷静に眺めることの第一歩です。少子高齢化が進む中でどのように地域を活性化していくのかという身近な問題から、国家という枠組みを超えていく経済活動と地球環境問題への対応をどう両立させていくのかといった問題まで、私たちの社会には課題が山積しています。こういうときこそじっくりと腰を据えて、何が起きているのかを自分の頭で考える必要があります。本学部で経済学・経営学を学び、地に足のついた視点を身に付けることで、自立した個人へと成長することができます。



学部の特長

01 個性豊かな教員による きめ細やかな指導

専攻分野も経歴も個性も様々な教員が在籍し、少人数教育のメリットを最大限活かしたきめの細かい指導を行います。一人一人の興味や好奇心を満たし個性を伸ばしてくれる教員との出会いがきっとあります。



02 双方向性の強い 多彩な教育の場

講義や演習（ゼミ）という基本的なプラットフォームの中で、アクティブ・ラーニングの場を多く提供します。議論参加型の講義、フィールドワーク、プレゼンテーション、実験など、あなたを巻き込む授業が多数あります。



03 学科の垣根を越えた 総合的な学修

募集は学科ごとですが、カリキュラムは相互乗り入れしており、両学科の科目が履修可能です。経済と経営を総合的にとらえるために、特定の分野に閉じこもらない多様な視点の獲得を目指します。



経済学科

Department of Economics

経済学科では、マクロ経済学とミクロ経済学を基礎として、古今の学説や経済活動の歴史、経済政策の手段とその効果、地域や国際経済などへの理解を深め、詳しく分析するための、オーソドックスでありながらもしっかりとした体系のカリキュラムを準備しています。そして、講義だけでなくフィールドワークや少人数でのゼミを通じて、主体的で対話的な深い学びを実践しています。ぜひ色々な考え方に触れながら社会への見識を広め、自ら考え行動する力を養ってください。



学びのポイント

01 基礎から学べる

経済の仕組みや構造を基礎から学ぶことができます。最初に理論をしっかり学ぶことで、長く定着し応用のきく知識になります。経済の仕組みを理解できるようになりたいけれど、どこからスタートして良いかわからないと感じている皆さん、基礎から丁寧に学んでみませんか。

03 「いま」が学べる

経済の世界の事象は層になりながら連関しています。人口動態や気象変化、技術革新などの大きな流れの上に、毎年の経済全体の動きがあり、個々の企業の活動や、個人の消費動向、政府の政策の変化などが重なりあっています。「いま」とつながる新しい学びを身に付けてみませんか。

02 体系的に学べる

個々の知識をバラバラに勉強するのではなく、体系的に理解することができます。学んだことが樹木の枝と幹のようにつながって関連性のある知識になる経験をしてみてください。分野の全体像が見えると、多様な意見の位置が把握でき、将来のビジネス上の判断、個人としての判断の際の大きな力になります。

04 建設的な疑問が持てる

社会に出て自分の足で歩く時、変化にただ翻弄されるのではなく、身に付けた知識を応用して、自分の人生や組織の未来を切り開くことが求められます。そのためには継続した学びの姿勢が大切です。建設的な疑問を持つことは、高等教育の大きな目的の一つです。疑問を持って学び続ける人になってみませんか。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1年次 経済学の基礎理論を学ぶ	2年次 専門分野への本格的参入	3年次 ゼミを中心に研究への導入	4年次 研究活動の総仕上げに向けて
理論・歴史	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済数学、西洋経済史	マクロ経済学Ⅲ、政治経済学 経済学史、日本経済史	アジア経済史	
政策		経済政策、産業組織論、財政学 中小企業論Ⅰ・Ⅱ、金融論、国際経済学A・B 労働経済学、社会保障論、文化経済学 農業生産・流通政策論、公益事業論 地域マネジメント論	地方財政論、地域経済論 農業経済学、環境経済学 応用経済学	
統計・情報	統計学	計量経済学		
国際		中国経済論、アジア経済論、ロシア経済論 アジア経済最前線と地域経済	開発経済論、中国の企業と経済 移行経済論	
経営	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 企業論、簿記原理	会計学Ⅰ・Ⅱ		
法律		権利擁護を支える法制度 会社法、取引法		
外書・演習		外書講読Ⅰ、基礎ゼミ	外書講読Ⅱ、演習Ⅰ	演習Ⅱ、卒業論文
現代社会とその課題	特別企画講座A 経済学特講A	特別企画講座B・C・D 経済学特講B・C・D	特別企画講座E・F・G 経済学特講E・F・G	
その他の科目	キャリアデザイン概論Ⅰ・Ⅱ	福祉のまちづくり論 キャリアデザイン特論	社会的企業論	

※2024年度カリキュラム

PICK UP CLASS

みつわプロジェクト



自ら課題を発見しグループ研究を通して解決策を見出す

経済学部教員有志

経済学部では、学生が多く参加するプロジェクトがしばしば立ち上がります。このプロジェクトでは、地元のホームセンターみつわの支援を受けました。初めての経験で戸惑っていた学生ですが、流通業の現場をフィールドとした研究をする中で、最後には立派にプレゼンテーションを行いました。学生目線の提案をまとめ、ホームセンターみつわからも高い評価を得ることができました。

演習Ⅰ(経済政策演習)



他大学との交流を機に広がる視点

ひろせ こうき 教授
廣瀬 弘毅 教授

すでに20年近くにわたって、他大学との対抗ゼミに参加してきました。学生自身が自分たちで決めたテーマについて報告し、その後討論する形式です。2023年度は京都の龍谷大学で、小樽商科大学、釧路公立大学とともに開催しました。他の地域の多様な大学との交流で、視野が広がり、学生が成長する機会になっています。

“理論通りにはいかない”

そこが経済の面白さ

卒業生
インタビュー



福井放送株式会社 勤務

やすのゆうへい
安野 裕平さん 2020年度卒業

放送局の営業として、番組やCMのスポンサーを集める仕事をしています。商品や企業イメージを発信するための効果的なメッセージやターゲット層を分析し、それに合わせた提案を行っています。日本全国にCMを流すスポンサーとのやり取りを通して、最新の社会情勢や消費動向をいち早く肌で感じることができ、とても刺激的な毎日です。

ゼミではマクロ経済学、政治経済学を中心に、経済理論が実際の社会でどのように使われているかを学び、経済政策に対する理解が深まりました。実際の社会では必ずしも

理論通りにいくわけではなく、そこが面白くもありました。これらの学びを経て、日々変化する経済の動きに対して感度を高められたと思います。

県大ではゆったりとした時間が流れ、自分のペースで勉強や趣味に取り組めるので、興味のあること、好きなことに素直になり、熱中してください。それがいつか自分の人生の軸となり、物事を選択するときに大きな役割を果たしてくれると思います。

多様な学びと経験を生む

地域との深いつながり

在学生
インタビュー



経済学科

おおしまさき
大嶋 咲貴さん 福井県立金津高等学校出身

県大は地域との結びつきが強く、フィールドワークや地域との交流を通して地域活性化について学べるので、地元福井の発展にどう貢献できるのかを学びたくて進学しました。経済学科ではお金の流れや世界の経済情勢などに特化して学ぶと思っていましたが、意外にもいろんな授業を受講することができ、自分の興味や視野が広がっていくのを実感しています。短期留学を経験したことで今は海外にも興味が湧き、3年次からは中国経済学のゼミに所属して学ぶ予定です。

先生方との距離が近く、仲良くなれるのも県大の特徴です。学生チャレンジスペースという、大学の敷地内で飲食などの事業にチャレンジできる活動に先生から声をかけていただきました。学生会館の一部をリニューアルし、学生たちが気軽に集える場所作りに、先生方と一緒に取り組んでいます。

将来は海外に関わる仕事に就くのが目標。県大で得たさまざまな経験や、何事にも挑戦する姿勢、思考力を活かしていきたいと思っています。

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



キャリア展望

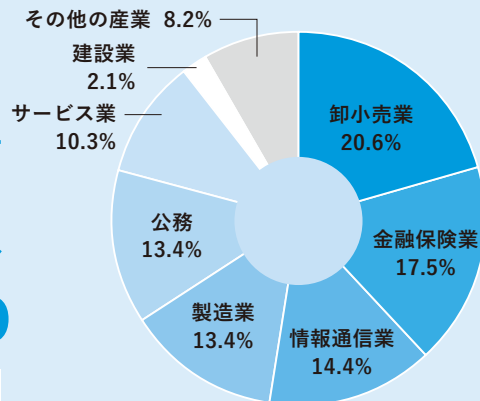
- 企業
 - 金融・保険、製造業、卸小売業、サービス業、運輸業、電力・ガス会社、情報通信、商社、航空、旅行、マスコミなど
- NPO、NGO、農協、生協、大学法人職員
- 中小企業診断士・経営コンサルタント
- 税理士
- 公認会計士
- ファイナンシャルプランナー
- 証券アナリスト
- 国家・地方公務員
- 高等学校教員

卒業後の進路

就職率（2023年度卒業生）

100%

就職 97.0% その他 3.0%



取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（公民/商業）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。

卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

- 〔製造業〕 福井村田製作所、酒井化学工業、ウラセ、ギャレックス、TOP、前田工織、松浦機械製作所、小野谷機工、キョーセー、小松ウオール工業、三谷セキサン など
- 〔卸小売業〕 クスリのアオキ、ゲンキー、興和江守、ヤスサキ、山崎金属 など
- 〔金融保険業〕 福井銀行、福井信用金庫、福邦銀行、北陸銀行、アクサ損害保険福井センター、今村証券、越前信用金庫、東海東京フィナンシャルホールディングス、北陸労働金庫、八十二銀行 など
- 〔情報通信業〕 三谷コンピュータ、天晴データネット、共同コンピュータ、石川コンピュータ・センター、ALL CONNECT、カーネル・ソフト・エンジニアリング、ビジュアルソフト、SCSKニアショアシテムズ、NTTデータ北陸、データシステム、福井新聞社 など
- 〔サービス業〕 税理士法人合同経営会計事務所、福井県民生活協同組合、税理士法人日本綜研、福井商工会議所 など
- 〔公務〕 福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部、九州財務局、福井労働局、金沢地方方法務局、石川県庁、富山県庁、福井市役所、敦賀市役所、越前市役所、あわら市役所、坂井市役所、加賀市役所 など
- 〔進学〕 福井県立大学大学院 など

経営学科

Department of Business Administration

福井には高い技術を持ちシェアの高い製品を生み出す、キラリと光る強みを持つ企業が多くあります。経営学科では、産業界とも連携しながら、「生きた教科書」に実際に触れて、肌で感じながら学ぶ機会を多く設けています。一方で、基礎理論を学ぶことも重視しており、経済学科とも連携しながら、経営学、商学、会計学、情報分野などの幅広い分野を学ぶことができます。地域性を活かし楽しみながら理論と応用・実践をバランスよく学ぶことができる「福井で学ぶ、福井でしか学べない経営学」を、一緒に学んでいきましょう。



学びのポイント

01 多様なバックグラウンドを持つ教員スタッフ

経営学科には、実務経験を持つ教員や海外での経験が豊富な教員など、様々なバックグラウンドを持つ教員が多数在籍しています。アカデミックな理論と実務的な経験とを組み合わせて学ぶことで、経営学への理解をより深めることができます。

03 地域との連携による実践的教育

福井の地域性を活かして、地元企業や関連団体との連携により、多彩なゲストスピーカーをお招きした講義や、工場見学などのフィールドワークを積極的に実施することで、経営学の「生きた教科書」に触れて、感じて、楽しみながら学ぶことができます。

02 演習（ゼミ）での少人数教育

少人数教育を掲げる本学の演習（ゼミ）では、教員1名が担当するのは13名以下のグループとなっており、教員やゼミのメンバーとの議論やグループワークがやりやすい、双方向的な学修ができる体制になっています。

04 学んだことが社会に出てからも活かされる

経営学は実践的な学問分野ですので、大学で学んだことが社会に出てからも活かされる場面が多くあります。本学では、経済学・経営学の基礎理論をしっかりと学ぶとともに、地域との連携により実践的に学修することができるので、将来の進路選択の幅を広げることにつながります。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1 年次 経営学の基礎理論を学ぶ 経営学の基礎理論を必修として履修し、2年次からの専門的な学びに備えます。マクロ・ミクロ経済学など両学科に共通した科目も用意されており、学科の垣根を越えた学修ができます。	2 年次 本格的に専門分野を学ぶ 本格的に専門科目を学ぶことになります。また、少人数教育として前期は「基礎ゼミ」、後期は「外書講読」が必修。少人数制を活かした丁寧な指導のもと3年次からの専門的な研究に必要な能力を高めます。	3 年次 ゼミを中心に専門分野を学ぶ 演習Ⅰ（ゼミ）が中心。全教員により開講されるゼミに分かれて、専門分野の研究を掘り下げていきます。文献講読やフィールドワークなどを行い、必要な知識やスキルを身に付けます。本格的な研究に取り組むと共に、卒業論文の準備を行う期間です。	4 年次 4年間の総仕上げである研究活動 大学時代の総仕上げとしての学修と研究の大切な期間です。多くの学生が、演習Ⅱ（ゼミ）で自ら課題（研究テーマ）を設定し、卒業研究や卒業論文に取り組めます。
経営理論	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 西洋経営史	経営戦略論Ⅰ・Ⅱ、人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営財務論、経営組織論Ⅰ・Ⅱ 流通論、マーケティング論 消費者行動論、日本経営史	生産管理論Ⅰ・Ⅱ、非営利組織論 広告論、産業デザイン	
企業・地域	企業論	中小企業論Ⅰ・Ⅱ、産業組織論 公益事業論、地域マネジメント論	地域経済論、国際経営論 欧米企業論	
情報・会計	統計学、簿記原理 簿記論Ⅰ	経営情報論、簿記論Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ、会計学Ⅰ・Ⅱ	税務会計論、情報管理論 経営分析論、管理会計論	
経済	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ	財政学、金融論、国際経済学A マクロ経済学Ⅲ		
法律		権利擁護を支える法制度 会社法、取引法		
外書・演習		外書講読Ⅰ、基礎ゼミ	外書講読Ⅱ、演習Ⅰ	演習Ⅱ、卒業論文
現代社会とその課題	特別企画講座A 経済学特講A	特別企画講座B・C・D 経済学特講B・C・D	特別企画講座E・F・G 経済学特講E・F・G	
その他の科目	キャリアデザイン概論Ⅰ・Ⅱ	福祉のまちづくり論 キャリアデザイン特講	社会的企業論	

※2024年度カリキュラム

PICK UP CLASS

実務から学ぶ会計と税務～税理士による租税講座



社会で活躍する先輩たちの姿から自身の未来を描く

徳前 元信 教授 やました ともあき 准教授 きのした かずひさ 准教授

現役税理士15名を講師に迎え、その仕事や会計・税務について講義をしてもらっています。税理士制度やその仕事の魅力、税法の解説（消費税、相続税、所得税、法人税）と内容は多岐にわたり、「税理士の仕事に興味がある」、「より実践的な内容について学習したい」という学生に適しています。また、税金だけでなく、社長の経営の相談役や、公益活動の担い手として幅広く活躍する専門家であることに驚いたようです。講師の多くが福井県立大学の出身者です。社会で活躍する先輩たちの話を直接聞くことで、自身の卒業後の姿を描いているようです。（日本税理士会連合会による寄附講座です。）

地域マネジメント論



問題意識と当事者意識が、未来のあなたを変える

すぎやま ともき 教授

「地域マネジメント論」では、地域の持続可能性に焦点を当てています。地域が抱える課題や、地域の歴史や文化、産業や企業、人と人とのつながりといった地域特性の理解を深めます。経営学科で学ぶ理論を応用して持続可能な地域をつくるための視点や技術を学びます。生まれ育った「まち」への想いを具体的な行動に変え、地域課題を解決する実践者になるための一歩を踏み出すことができます。地元の魅力を再認識する力量を磨き、自らのアイデアと行動で、地元に貢献するために何ができるのか？を一緒に探しましょう！



地域密着型の学びを
地元福井の発展に活かす

経営学科

お や ま な つ き
小山 夏輝さん 福井県立鯖江高等学校出身

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



地域活性化の活動に興味があったこと、また、仮想空間での株取引に触れた経験から経済にも興味があったことから、経済を学びながら、地元福井についても学べる県大を選びました。生産管理論についてのゼミに所属し、企業の技術継承をテーマに研究を進めています。ゼミのみんなで議論することで、他の学生の考え方や新しい知識を取り入れることができ、より多くのことを学んでいます。地域と強く密着している県大では、福井県に関係する講義やフィールドワークも多く、地元企業の経営者など外部講師を招いた

講義などもあり、地域活性化に繋がる学びもできています。一般教養の授業やサークル、部活動では、他学部や県外出身の学生とのコミュニケーションも多く、彼らの声を聞いて福井の良さを改めて実感することもありました。卒業後は製造関係の職に就きたいと考えています。県外出身の友人との出会いから学んだ県外の良い点を福井に取り入れたいです。県大で学んだ経済学的な知識はもちろん、物事の考え方なども将来的に活かしていけると思います。



人生を豊かにする
新たな学びに出会える場所

倉茂電工株式会社 勤務

は し も と と も な
橋本 朋奈さん 2015年度卒業

「将来の選択肢を広げられる」と、県大の卒業生だった高校の先生の勧めで県大に進学しました。所属していた会計のゼミでは毎回異なるテーマでディベートを行い、多様な考えに触れながら知識を深め、コミュニケーションスキルを身に付けました。歴史や資本などさまざまな視点から身近な企業を調べ、みんなで議論をしたのが、面白くて印象に残っています。

製造業の企業を選んだのは、授業で学んだ会計学を通して製造業に興味を持ったのがきっかけ。現在は情報システ

ム管理室で社内システムの開発や管理業務に携わっています。社内の人との関わりの中で感謝の言葉をもらえると、会社に貢献できていることを実感します。

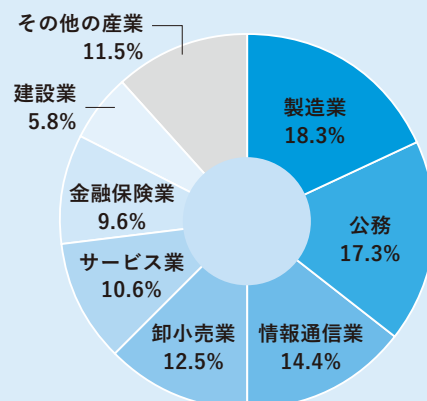
県大では専門の学びの他にも、人生を豊かにしてくれる学びに出会えます。タイの歴史や文化を研究する一般教養のゼミでタイを訪れ、ホームステイをしながら見聞を広めたのは忘れられない思い出です。高校での学びをより一層深めたり、新しい分野に興味を持ったりできるのが大学です。楽しい学生生活にしてください。

卒業後の進路

就 職 率 (2023年度卒業生)

99.0%

就職 96.3% その他 3.7%



キャリア展望

- 企業
金融、証券、保険、メーカー、卸小売業、物流、交通、電力・ガス、情報通信、商社、旅行、建設、会計事務所、マスコミなど
- NPO、NGO、農協、生協、大学法人職員
- 中小企業診断士・経営コンサルタント
- 税理士
- 公認会計士
- ファイナンシャルプランナー
- 証券アナリスト
- 国家・地方公務員
- 高等学校教員

卒業生の主な就職先・進学先(過去5年間)

- 〔製 造 業〕 福井村田製作所、松浦機械製作所、フクビ化学工業、酒井化学工業、前田工織、アイシン福井、光生アルミニウム工業、サカイオーベックス、サカイエルコム、シャルマン、シンフォニアテクノロジー、日本エー・エム・シー、凸版印刷、セーレン など
- 〔卸 小 売 業〕 ゲンキー、タッセイ、ユニフォームネクス、山崎金属、興和江守、白崎コーポレーション、コスモス薬品、福井キャノン事務機 など
- 〔金融保険業〕 福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行、福邦銀行、北陸労働金庫、八十二銀行、アクサ損害保険福井センター、福井県信用保証協会、三井住友信託銀行 など
- 〔情報通信業〕 三谷コンピュータ、天晴データネット、ART AGE、ALL CONNECT、ビジュアルソフト、福井コンピュータホールディングス、福井新聞社、福井放送 など
- 〔サービス業〕 税理士法人合同経営会計事務所、税理士法人上坂会計、日本郵便、北村労務会計事務所 など
- 〔公 務〕 福井県庁、福井県警察本部、北陸財務局、金沢国税局、富山県庁、福井市役所、鯖江市役所、永平寺町役場、越前市役所 など
- 〔進 学〕 福井県立大学大学院 など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(公民/商業)
※教職課程の単位を修得することにより得られる。

生物資源学部

Faculty of Bioscience and Biotechnology

生物資源学科 / 創造農学科

食・生命・環境分野での 新たな価値創造

生物資源学部は、生物資源学科と創造農学科の2学科からなり、生物資源に関わる研究を通じて、食品、医薬、化学工業などの製造業、環境汚染防止、廃棄物処理・資源有効利用、自然環境保全などの環境産業、農業など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

生物資源学科では、持続可能な環境に配慮したもののづくりができる人材を育成するため、生物の資源利用に関わる自然科学を学びます。創造農学科では、農のジェネラリストを育成するため、作物新品種や環境保全技術の研究開発、農産物の加工など実践的技術等を学びます。



学部の特長

01 福井県全体をキャンパスに 地域社会へ貢献

生物資源学科は歴史と文化が薫る知の拠点「永平寺キャンパス」、創造農学科は自然環境豊かな「あわらキャンパス」にあり、福井県全体をキャンパスとして多方面で社会貢献しています。



02 多彩な教員による 先端的かつ実践的な教育

海外勤務、企業団体勤務、学会賞受賞、ベンチャービジネス経営など多彩な経験を有する教員が実践的教育を提供します。実務者による実践的教育を通じて優秀な人材を社会に輩出し、就職率はほぼ100%を達成しています。

03 充実の研究設備で 研究成果を世界に発信

高度な研究設備が充実し、植物品種開発や分子生物学的研究、機能性素材の開発、応用微生物学、機能性食品などの分野で基礎的な研究成果を世界に発信しています。大学や企業等との共同研究や国際共同研究も充実し、地域社会に貢献しています。



生物資源学科

Department of Bioscience and Biotechnology

本学科では、「食」、「生命」、「環境」を3本柱として、教育と研究に取り組んでいます。微生物から動植物までさまざまな生物を対象とし、基礎研究で得られた成果を活用して、地域社会や人類の役に立つ取り組みを進めています。最新技術を使った世界をリードする最先端の研究から、地元福井の活性化をめざした地域に貢献する研究まで、幅広い研究が特徴です。入学後、いろいろな専門知識を得る中で、生物から化学までの幅広い研究領域から自分に合った研究室を選択し、研究することができます。海外での研究経験や企業での研究経験のある多彩な背景を持つ教員から、基礎から実社会で役立つ応用的な教育を受けることができるのも魅力の1つです。



学びのポイント

01 多彩な教員による 少人数教育

教員1名当たりの学生数が約2名の少人数教育により、密度の高い教育・研究指導を受けることができます。応用生化学、分子機能学、分子生物学、植物資源学と幅広い領域で、各自の興味に合ったテーマで卒業研究に取り組むことができます。

03 研究成果の発信 を通じた深い学び

研究で得られた成果を国内外の学会を通じて広く発信しています。学生の学会発表も盛んで、優秀賞や学会賞などの受賞も増えています。こうした機会は大学での研究生活をより充実させるものとなります。

02 最新の実験装置と 充実した研究設備

質量分析装置、共焦点レーザー顕微鏡や遺伝子分析装置など最新鋭の実験装置があり、充実した研究園場、大量培養施設、実験動物施設などを活用した教育・研究活動を行っています。また、産学連携拠点としてパイオインキュベーションセンターを有し、企業との共同研究に取り組んでいます。

04 実社会での研究開発や 製造に関する学び

民間企業や公的研究機関の研究開発担当者による講義や企業・研究所の見学を積極的に実施しています。これにより、実社会での研究開発、製品化、生産について学んでいます。これらは就職・進路の選択にも役立ちます。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	生物・化学の基礎を修得する 一般教養の広い裾野をベースに専門的知識を高く積み上げるピラミッド型の人材育成を目指し、1年次では専門教員による幅広い一般教養を学びます。理科系科目の導入教育も充実させ、生物学と化学の基礎原理をしっかり理解します。	実験・実習により応用力を養成 2～3年次にかけて、生物、化学、微生物学、食品生化学、生物物理化学、分子生物学、植物資源学、環境科学の実験・実習を行い、応用力を養います。県内外の研究機関・部門を訪問し、県の行政における研究機関の役割や民間企業における研究内容や生産施設についても学びます。	応用力強化と卒業論文の準備 専門実験および実習で、引き続き応用力をステップアップさせます。また、卒業論文に向けて、多様な専門科目を学びます。さらに、インターンシップや技術者倫理などで、社会との接点を学びます。	4年間の総仕上げである研究活動 大学時代の総仕上げとしての学修と研究の大切な期間です。全ての学生が研究室に所属し、自ら課題（研究テーマ）を設定し、卒業論文に取り組みます。
生物学の基礎と応用	生物学Ⅰ・Ⅱ	遺伝学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ・Ⅱ 植物生理学Ⅰ、動物生理学	育種学Ⅰ・Ⅱ、植物栄養学 分子生物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、植物病理学 植物生理学Ⅱ、生物有機化学、動物資源学 細胞免疫学、施設園芸学、果樹園芸学	
化学の基礎と応用	化学Ⅰ・Ⅱ	分析化学、有機化学 一般微生物学、応用微生物学Ⅰ 食品化学、農産物利用学	生物物理化学Ⅰ・Ⅱ、生物物質化学 生体高分子化学、応用微生物学Ⅱ 食品衛生学、栄養化学、農薬化学	
生物資源学の基礎と応用	地学概論 数学基礎	環境生物学、応用気象学、土壌学 生態学Ⅰ、地圏環境学 生物資源学概論、地域生物生産実習	森林生理・生態学、生態学Ⅱ、農業経営論 技術者倫理、作物学、ゲノム生物学 情報生物学、応用昆虫学	
問題解決能力	化学実験 生物学実験	応用生物学実験、生物化学実験 科学英語Ⅰ 生物資源学特別講義Ⅰ・Ⅱ(リサーチクレジット)	生物物理化学実験、微生物学実験 食品生化学実験、分子生物学実験 植物資源学実験、環境生物学実験 生物資源学特論Ⅰ(リサーチクレジット) 科学英語Ⅱ、インターンシップ 技術者と企業	専攻演習、卒業論文

※2024年度カリキュラム

研究紹介



タンパク質科学分野

ひび たかお いたうたかふみ くらわよういち たいけいあつし
日井 隆雄教授 伊藤 貴文教授 黒川 洋一准教授 向山 厚准教授

食品・医薬・化成品分野で利用される酵素タンパク質の構造や機能について研究しています。



食品機能科学分野

いとう たかし たかはしまさかず まつい たかのり
伊藤 崇志教授 高橋 正和准教授 松井 孝憲准教授

福井県特産農産物産物が持っている未知の健康増進効果や疾患予防効果を研究しています。



植物分子機能学分野

にしはら まさひろ しのはら ひでふみ はやし ひろし
西原 昌宏教授 篠原 秀文准教授 林 潤准教授

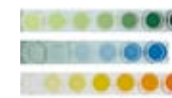
多彩な植物の機能を未知な遺伝子のはたらきを解明し、応用に繋げる研究をしています。



植物遺伝資源学分野

かざま ゆうすけ いけだ み ほ にしじまりよう
風間 裕介教授 池田 美穂准教授 西嶋 遼准教授

多種多様な遺伝資源を用いた有用遺伝子の同定や品種改良新技術の開発をしています。



生物分析化学分野

かた の はじめ うえまつ こうへい
片野 肇教授 植松 宏平准教授

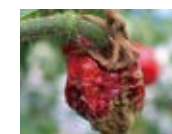
医薬品・化学品や環境・健康の指標となる分子・イオンの分析法をつくっています。



応用微生物学分野

はまの よしみつ まるやまち と せ はせ べ ふみひと
濱野 吉十教授 丸山 千登勢准教授 長谷部 文人助教

微生物に由来する多様な代謝や酵素、生成物をものづくりへと応用する研究をしています。



植物病理学分野

なかした ひでお いしかわ あつし かとう ひさはる
仲下 英雄教授 石川 敦司教授 加藤 久晴准教授

作物を病気から守るため、植物と病原菌・共生菌の相互作用や免疫機構を解明しています。



環境植物学分野

ふかお たけし しおの かつひろ つの だ ともり
深尾 武司教授 塩野 克宏教授 角田 智詞准教授

気候変動に負けない持続的な作物生産の実現のため、植物と環境の相互作用を研究しています。

PICK UP CLASS

リサーチクレジット

(生物資源学特別講義Ⅰ・Ⅱ、生物資源学特論Ⅰ)



卒論研究の開始前でも最先端の研究を体験できる！

ふかお たけし 深尾 武司 教授

米国の大学では1年生のうちから研究室の一員となり、最先端の研究を体験できる「リサーチクレジット」と呼ばれる制度があります。生物資源学科では、2023年度より選択科目として、米国式「リサーチクレジット」を導入し、各研究室において研究・開発における考え方や実践的手法をマンツーマンで指導しています。従来の実験系科目が、実験手法や解析技術の習得に主眼を置いていたのに対し、リサーチクレジットでは、科学で解明されていない未知の課題に挑み、その答えを導き出す活動を通じて、論理的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力などの汎用スキルを向上させることを目的としています。



自分の選択が未来を作る！
それが大学生活の醍醐味

生物資源学科

く どう あおい
工藤 葵さん 福井県立金津高等学校出身

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



生物資源学科は、微生物や植物の遺伝などの分子の世界から、植物の生態といった環境の領域まで、生物について多方面から学ぶことができます。もともと生き物全般が好きだったことに加え、少人数教育で指導が手厚いこと、最新の実験設備が整っていることにも魅力を感じ、本学科を選びました。

所属する研究室では、体の老化の原因となる物質AGEについて「AGEの形成を阻害する食品の探究」をテーマに研究しています。現在は、実験計画の立て方や考察の仕方、結

果のまとめ方など、実験の基礎を学んでいる段階ですが、しっかり身に付けた基礎は就職後にもきっと役に立つと思います。

専門教科はもちろん一般の科目も充実しており、自分の興味・関心を広げることができるのも県大の魅力です。高校とは違い、大学では履修する講義や所属する研究室などを自分で選択することができるので、将来の可能性は自分次第。それも含めて、大学生活を楽しんでください。



主体性を発揮して
研究の楽しさを実感！

協和発酵バイオ株式会社 勤務

うち やま しゅん
内山 駿さん 生物資源学科 2020年度卒業
大学院生物資源学研究科 博士前期課程 2022年度卒業

目には見えない小さな微生物が医薬品や発酵食品を作り出し、私たちの生活を支えています。それを講義で知って関心を持ち、今の職場に就職を決めました。現在は、生産技術研究所で医薬品原料やアミノ酸製造の工業化に向けて、より大きな規模で安定して微生物を培養できるプロセスの検討を行っています。良い結果が得られると直接製造プロセスに反映されるので、責任とやりがいがあります。

応用微生物学研究室では、放線菌という微生物が作り出す二次代謝産物の生合成機構の解明に取り組んでいまし

た。実験やディスカッションでは学生一人一人の考えを尊重してくれるので、主体的に取り組むことができ、研究の楽しさを実感できました。ここで培った積極性は現在の仕事にも活かされています。

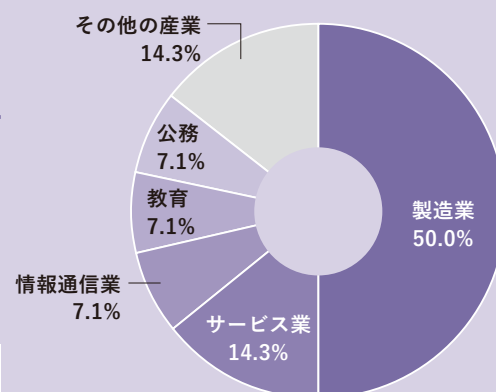
高性能な機器を研究室単位で保有し、実績のある若手の先生も多いので、県大の研究力は今後も伸びていくと思います。研究に没頭したい方にはこれ以上ない恵まれた環境です。学生生活に関しても先生方が相談に乗ってくださるので、安心して4年間を過ごしてください。

卒業後の進路

就職率（2023年度卒業生）

100%

就職 65.1% 進学 32.6% その他 2.3%



キャリア展望

- 製造業（薬品、化学品、食品など）における研究、工程・品質管理、製造業務
- 環境関連の調査分析の企業における技術員
- 高等学校教員（理科）
- 公務員（農林業など）

卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

- 〔福 井 県 内〕 ウラセ、サカイオーベックス、田中化学研究所、日華化学、日東シンコー、福井県環境保全協業組合、福井県民生活協同組合、福井村田製作所、ふじや食品、福井県庁、福井県教育委員会、福井県警察本部 など
- 〔福 井 県 外〕 イチビキ、井村屋、エースコック、NTTデータMSE、京セラ、スターバックスコーヒージャパン、生晃栄養食品、大日本住友製薬、はごろもフーズ、富士通Japan、フジパンググループ など
- 〔進 学〕 福井県立大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院 など

〔福井県立大学大学院への進学後の就職先〕
アドバンテック東洋、天野エンザイム、大塚食品、全業工業、タキイ種苗、田中化学研究所、東亜薬品、東洋紡、日信化学工業、日本食品分析センター、日本ハム、日本メナード化粧品、森永北陸乳業、福井県庁 など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（理科）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。
- 修習技術者
※JABEE（日本技術者教育認定機構）認定校であり、プログラム修了により取得できる。
- 資格要件が得られるもの ※所定の単位修得が必要。
- 自然再生士補
- 危険物取扱者甲種
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※採用者等が資格の有無を判断するため、就職後採用者等に確認すること。

生物資源学科
Webサイト



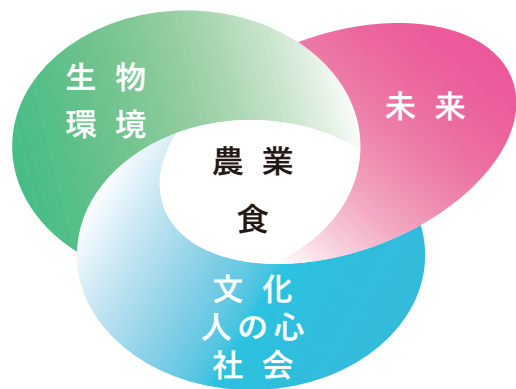
創造農学科

Department of Sustainable Agriculture

創造農学科で学ぶ領域は、総合知としての「農」です。「農」とは農業だけを指すのではなく、食・環境・文化・生活といった「農業」を中心とした社会全般です。そこで、1年生の専門科目では、専任教員に加え、100名を超える各方面の専門家（特任講師）による実習が中心となります。「食・農業・環境・文化・生活」そのつながりをそのまま体験し、現場から学ぶ。聞いて、見て、やって、考えて、話し合う実習と講義。面白いと思うところを専門家から学び、深める講義。それらを通じて、「農」の中で自分がどう生きるかを考える。その全てを本学科で勉強します！



学びのポイント



01 農（食・農業・環境・文化・生活）に関する幅広い知識と技術を学びます

実体験する実習を中心としたカリキュラムにより、将来、様々な分野で活躍するうえで欠かせない、幅広い知識と技術が身に付きます。

02 自ら考えて課題を解決する能力を養います

実習や研修で実体験すると、様々な疑問や課題が生まれます。それらについて自然に自ら考え、課題を解決するノウハウが身に付きます。

03 コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養います

実習や研修では、様々な人と会い、会話し、考えることが必要となり、自然と高度なコミュニケーション能力が身に付きます。また、課題解決の提案や報告では、常にプレゼンテーションが必要となり、高度なプレゼンテーション能力が身に付きます。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
	食・農・環境の全てを体験！ 福井県すべてをキャンパスに、食・農・環境の全てを体験します。体験して疑問に思ったことを自ら調べ、仲間とワイワイ話し合っって身に付けた学びは、一生忘れない財産になります。割り当てられた自分の畑で好きな農産物を生産し、加工や販売も行います。	「農」を実践し、面白い！を発見 農業を中心に、食や環境、文化、社会は全てつながって総合知としての「農」を形成します。このつながりを実践の中で体感し、科学的な根拠にもとづいて論理的に考え、その考えを分かりやすく人に伝え、共に行動する力を養います。その中で自分が面白い！と思えることを見出します。	面白い！を深め、自分の生きる道を考える 自分が面白い！と思うことを専門の実験や講義でより深く学びます。専任教員や地域のプロフェッショナルと共に様々な活動をし、たくさん話し、感動を分かち合う中で、自分の生きる道を模索します。	好きな場所で好きな学びを深化 専任教員や地域のプロフェッショナルに弟子入りして、自ら課題を設定し、卒業論文に取り組みます。「農」の中で自分がどう生きるかを見定めます。
専門科目	食農環境・文化概論、総合農学食農環境実習Ⅰ、食農環境演習Ⅰ、実践農業英語	食農環境実習Ⅱ、食農環境演習Ⅱ	食品加工実習、育種学実験Ⅰ・Ⅱ、蔬菜園芸学実験、花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、微生物利用学実験、植物保護学実験、地域農政学実験	専攻演習、卒業論文
集中講義	先端農業技術活用論、総合的生物多様性管理論、地域農政論、地域森林利用論、農業市場論、農業経営論、蔬菜園芸学、花卉園芸学、果樹園芸学、雑草管理学、微生物利用学、育種学Ⅰ・Ⅱ			
学部共通科目	農産物利用学、食品化学、食品衛生学、植物病理学、農薬化学、動物資源学、応用気象学、土壌学、生態学Ⅰ・Ⅱ ほか			

※2024年度カリキュラム

研究紹介



植物遺伝育種学

むらい こうじ
村井 耕二 教授

北陸地帯に適した小麦の品種開発を行っています。これまで、福井県で唯一栽培可能な「ふくこむぎ」を開発しました。現在、製パン性に優れた品種開発やパスタ用デュラム小麦の開発を行っています。



微生物利用学

き もと ひさし
木元 久 教授

自然界から新種の微生物を分離して産業利用したり、カニ殻などの生物資源を有効利用したりする研究を行っています。これまでの研究成果としては、微生物廃水処理剤や植物活力剤（バイオスティミュラント）、機能性食品、感染症研究用として細菌毒素の商品化に成功しています。



花卉園芸学

しのやま はるえ
篠山 治恵 准教授

花を材料に、育種技術に関する研究を行っています。現在は、暮らしに彩りや癒しを与える花、薬効成分を増加させた薬用植物など、人々の暮らしに役立つことを目指した植物の開発を行っています。



果樹園芸学

まつもと だい き
松本 大生 准教授

温帯果樹の生理と栽培に関する研究を行っています。特に、オウトウやアケビの自家不和合性現象（雌しべが自分の花粉を拒絶する仕組み）と受粉管理方法について研究しています。



地域農政学

もりかわ みねゆき
森川 峰幸 教授

新幹線開業により交流人口の増加が見込まれる中、新たな農業ビジネスの創造に取り組んでいます。これまで、トマトやニンジンなど地場農産物を活用した「トマトソース」や「オリーブドレッシング」を開発しました。現在は、観光農業の活性化などのテーマに取り組んでいます。



蔬菜園芸学

もりなか よういち
森中 洋一 教授

野菜の栽培、品種の特性評価に関する研究を行っています。現在は福井県嶺北地域におけるエダマメ生産限界や水稲育苗ハウスの遊休期間の利活用を想定した無加温ハウスにおけるニンジン生産に関する調査を行っています。



植物分子育種学

みうら こうたろう
三浦 孝太郎 教授

イネの品質や収量に関する遺伝子の基礎的研究と、突然変異を利用した品種育成に取り組んでいます。これまでに、米粒が大きい「ピカソンタ」や、大粒でモチモチ食感の「ふくむすめ」を開発しました。現在は、酒米やモチ米の改良に取り組んでいます。

PICK UP CLASS

食農環境実習Ⅰ



和食の技を学ぶ

創造農学科全教員

食農環境実習Ⅰでは、実際に「農」の現場を訪れるのと共に、あわらキャンパスの園場を使って、農作物の栽培、農・海産物の収穫、加工、消費、および共同体活動を広く体験します。この実習では、あわら温泉旅館の総料理長を特任講師として招き、「出汁」の理論や和食の盛りつけのコツなどを学びました。旅館厨房で使われている本物の素材を用いて、本格的な「出汁」引きに挑戦しました。



人と深く関わりながら

「農」を総合的に学ぶ

創造農学科

かわばた りん か
川端 凜花さん 福井県立武生東高等学校出身

本学科は農業、福井県の食文化・環境・経済・農政など幅広く学ぶことができます。理系の内容も丁寧に教えてくれるので文系出身でも安心してください。企業や地域の方が特任講師として授業をしてくださることが多く、多岐にわたる話を聞けるのもとても面白いです。専門的な知識だけでなく、実践に基づいた生きた知識・経験が得られる学科だと思います。

1学年30人前後なので、ソーセージ作りの実習や畑などは学年全体で行い、男女問わず全員と関わりながら学びま

す。4学年合同で行う創造農学科恒例の収穫祭では、先輩後輩との距離もグッと近づきました。先生方も親身になって一人一人に寄り添った指導をしてくださいます。同級生に先輩後輩、そして先生方と、困った時にすぐに相談できる相手がいるのは心強いです。

授業で梅シロップや味噌などを手作りし、季節ごとに旬のものを使って自分で作り、美味しくいただく楽しみもありました。「季節・環境に合わせた食を楽しむ」豊かな人生を、今後も続けていきたいと思っています。

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



多彩なプロたちから学ぶ

自分の生き方、働き方

み う ら こ う た ろ う
三浦 孝太郎 教授

イネの収量や品質に関わる遺伝子について研究しています。種まきから収穫までの栽培工程や、遺伝子に関する基礎研究、イネの品種育成や商品開発といった応用研究まで、幅広く学ぶことができます。「コシヒカリ」を改良し開発した新品種「ピカツンタ」は、2020年に福井県の産地品種銘柄にもなりました。

実習では、農家をはじめ多くの特任講師の方々と出会えます。最先端のスマート農業に取り組む人や、昔からある伝統的な農法を守り続ける人。サラリーマンや自営、経営者

など働き方もさまざまです。多様な分野のプロの生き方・働き方を学び、自分の生きる道を見つけ、ここで得た人脈を今後も大いに活用してください。

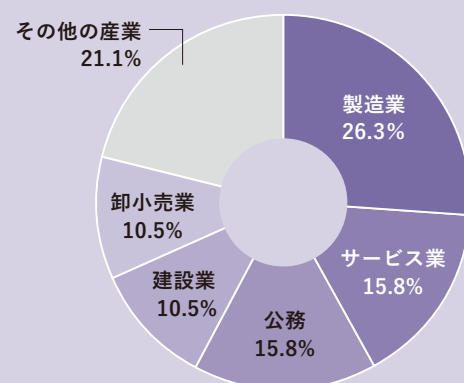
都会の大学では得られない充実した実習・経験ができるのは、豊かな自然と広大な畑・水田・果樹園があるあわらキャンパスならではの。栽培した野菜の販売や、加工した商品を実践的な実習もあり、社会の仕組みも体感できます。福井県と一体となった学びを通じて、地域社会の即戦力となる人材育成を目指しています。

卒業後の進路

就 職 率（2023年度卒業生）

100%

就職 65.5% 進学 34.5%



キャリア展望

- 農林畜産物の生産・販売、6次産業、植物工場、農作物商社、食品加工会社 等
- 種苗会社、農業機械メーカー、肥料・農業メーカー、食品会社、農業施設・資材メーカー 等
- 環境調査会社、環境コンサルティング会社、造園・緑化会社、森林組合 等
- 国家・地方公務員、教員、農協 等

卒業生の主な就職先・進学先（一期生2023年度卒業）

- [福 井 県 内] AGC若狭化学、興和江守、サンワコン、ヘッドスプリング、エル・ローズ、ティエムティ、SP建材、福井県庁、起業
- [福 井 県 外] 島津製作所、スギヨ、小西安農業資材、スペンドワークス、岡山県農業開発研究所、農林水産省植物防疫所
- [進 学] 福井県立大学大学院

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（農業）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。
- 資格要件が得られるもの
- 食の6次産業プロデューサー
※所定の単位修得により資格要件が得られる。

創造農学科
Webページ



めっちゃめっちゃ
面白いので
見てね！
創造農学科
教員一同

海洋生物資源学部

Faculty of Marine Science and Technology

海洋生物資源学科／先端増養殖科学科

海洋生物資源研究の基礎から応用 そして社会実装を目指す学部

海洋生物資源学部は、海洋生物資源学科と2022年4月に開設された先端増養殖科学科の2学科で構成されています。海洋生物資源学科は、生物・環境・食と健康に関わる3つの領域で構成され、水圏の生物学・生態学的研究、流れや水質の調査・分析などから明らかにする水圏環境の研究、さらに食品加工・健康の研究といった幅広い分野を網羅しながら高度な研究活動を展開しています。先端増養殖科学科は水圏生物（魚介類、藻類）に関わる生命科学、環境科学、情報・社会科学の基礎研究を基盤として、増養殖への応用と社会実装までを対象に研究を進めています。本学部では、両学科の特長を活かした独自のプログラムに加えて、互いに講義内容を補完する共通カリキュラムも組まれ、知識や技術を広く、深く学ぶことができます。

学部の特長

若狭湾に面した「小浜キャンパス」と「かつみキャンパス」を拠点とする日本海側唯一の水産・海洋系学部です。海洋生物資源の持続的な利用を目指して、水圏生態系の多様な生物と環境因子との関係、生物生産の仕組み、水産物の利用・加工、さらにゲノムやAIを活用したマーケティング、ビジネスモデル構築を含む最先端の水産増養殖技術に関する教育と研究に取り組んでいます。



海洋生物資源学科：海洋生物資源学フィールド演習II



先端増養殖科学科：海洋生物資源学フィールド演習



海洋生物資源学科

Department of Marine Science and Technology

本学科は海・河川・湖といった水圏の楽しさに深く触れ、水圏と人の関わり方について探究しています。水圏は多くの生物が生きる場であり、人々の食生活、文化や交流を支える重要な場でもあります。「環境」や「水圏生物」、「食・健康」など、さまざまな視点から水圏の学問領域について学び、基礎研究から応用および実用研究まで幅広く追求できる環境が整っています。

水圏について幅広く学べる学科は、全国的にみても限られています。各地から集まってきた水圏への興味を持つ仲間と共に学ぶことは、本学科の魅力の一つといえるでしょう。また、小浜キャンパスの近くには若狭湾、三方五湖、河川や豊富な湧水といった豊かな自然があり、小浜は古くから京都の「食」文化を支えてきた鯖街道の起点の地でもあります。水圏を学ぶにふさわしい環境で、伸び伸びと学習や研究を進めることができます。



水圏生物



環境



食・健康

学びのポイント

01 海・河川・湖沼、それらのつながりについて、地域スケールから地球スケールの視点で学ぶ

地球は「水の惑星」と呼ばれています。本学科では、海洋、河川、湖沼、地下水など、水圏全体を研究対象にしています。特定の水域を深く調査する研究に加え、水の循環やつながりに焦点をあてた研究も進めています。

03 理論と実験・現場実習から、これからの水圏と社会の関わりについて学ぶ

大学での講義や実験による学びに加えて、フィールドワークや民間企業や研究機関への訪問など、社会での学びも重要視しています。

02 水圏に関連する生物、食と健康、環境について高度な専門的知識を学ぶ

水圏の「生物を知る領域」、「生物を育む環境を知る領域」、「食と健康を知る領域」で構成されています。生物についての研究だけでなく、生物の生息環境から利用・加工に至るまで多様な分野を網羅しています。

04 水圏に興味を持つ学生が集い、気付き合いながら学ぶ

水圏に興味を持つ学生が集うこと、そのことが新たな気付きや大学生活の楽しさを生み出します。新たな出会いと多面的な学問領域での学びをもとに、現代の水圏が抱える諸問題の解決に向けて取り組みます。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1年次 自然科学の基礎を学ぶ	2年次 海洋生物資源の基礎を学ぶ	3年次 専門分野の応用力を身に付ける	4年次 教育・学修の総仕上げ
専門基礎科目 必修	生物学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ 数学基礎、物理学Ⅰ	化学Ⅱ、生物学実験、化学実験 科学者および技術者の倫理		
必修 専門応用科目 選択必修	学部共通		基礎演習	専攻演習、卒業論文
	学科必修	海洋生物資源学フィールド演習Ⅰ 海洋生物資源学フィールド演習Ⅱ		
	水圏生物の生命現象の解明	動物生態学、水圏微生物生態学	藻類生理学、生態遺伝学 進化系統学、浮遊生物学 水圏生命情報科学	
	水圏環境の保全と修復	環境水理学、沿岸海洋学 海洋生産環境学、水産施設工学	水圏環境科学、海洋環境工学 山川里海連関学、生物地球化学 沿岸生態工学	
	水圏生物資源の有効利用	食品化学 海洋生物資源学特別講義Ⅱ	食品工学、食品保全学 生物資源分析化学、食品微生物学 食品安全管理論、食品栄養学	
選択	実験・実習・演習	地域活性化演習、海洋生物学実験 食品化学実験、水圏環境学実験	水圏保全遺伝学実習 海洋微生物生態学実験 海洋環境工学実習 食品工学実験、インターンシップ	
	海洋生物資源の幅広い視野の涵養	地学概論	海洋地質学、水産増養殖学概論 水産経済学 海洋生物資源学特別講義Ⅴ	動物生理学、水族病理学 魚類免疫学、水産資源学 科学英語Ⅰ・Ⅱ

※2024年度カリキュラム

研究紹介

水圏微生物生態学研究室

近藤 電二 教授／高尾 祥丈 准教授
片岡 剛文 准教授

海洋・湖沼・河川をフィールドにして微生物の群集形成・細胞生理・生物間相互作用の仕組みを明らかにする研究を行っています。微生物を単離し培養や遺伝子分析を用いて水圏生態系での物質循環を担う微生物の生態解明を目指しています。

海洋環境動態学研究室

瀬戸 雅文 教授／兼田 淳史 教授
田中 祐希 准教授

若狭湾などの沿岸域から太平洋などの外洋域までの流れや波、水質などの海洋環境を現場観測・水槽実験・数値シミュレーションなど様々な手法を用いて調べ、流れの発生機構や海洋環境の変動、海洋環境と生物の関係について研究しています。

藻類生命科学研究室

吉川 伸哉 教授／佐藤 晋也 教授
山田 和正 助教

生産者として水圏の生態系を支えている藻類を対象に、進化、形態形成、環境応答、藻類が作る物質の有効利用の研究をしています。藻類の特性を理解するための知見を積み上げるとともに、資源としての藻類の利用に貢献できるように努めています。

水圏資源生態学研究室

杉本 亮 教授／小路 淳 准教授
松林 順 准教授／山本 昌幸 准教授

水産資源の変動機構の解明と、その持続的利用に不可欠な生態系の構造と機能の理解を目的として、水圏生態系の物質循環や生物生産、水圏動物の生態や生物多様性に関する基礎的・応用的研究を行っています。

水産資源化学研究室

横山 芳博 教授／水田 尚志 教授
細井 公富 准教授

海洋生物資源に含まれる各種有用成分の探索とその構造・機能解明に関する研究や、養殖魚の鮮度維持や飼料改良による品質向上に関する研究を行っています。海洋生物資源を食料はもとより、化粧品や医薬品など生活関連素材として有効活用することを目指しています。

食資源利用学研究室

松川 雅仁 教授／今道 力敬 准教授
下畑 隆明 准教授

食料資源として水産物を持続的に有効利用するために、魚肉タンパク質の品質制御や加工技術の基盤となる研究、水圏由来の有害微生物の制御を通じた食の安全と安心に資する研究および健康機能有用成分の探索に関する研究を進めています。

在 学 生
インタビュー



海洋生物資源学科
やまもと しゅうや
山本 修也さん
愛知県立豊橋東高等学校出身

水圏にまつわる多彩な学びで
やりたいことを見つけて

魚類について学びたくて進学しましたが、魚類だけでなく藻類や微生物、水産経営、食品保全など幅広く学ぶことができるので、学ぶうちに新しいことに興味が湧いてきてとても楽しいです。実際に私自身も、実験を通して関心を持つようになった食資源利用学研究室に所属しました。魚肉タンパク質の冷凍保存時の品質制御や加工技術について研究したいと考えています。

船に乗ったり試料採集で生き物に触れたり、フィールドに出て自然と触れ合いながら学びを深めることができるのが本学科の魅力です。専門的な学部だからこそ釣りなどの趣味が合う友人も多く、学業以外の面でも充実した時間を過ごせます。外に出て活動するのが好きな人はきっと楽しめる場所だと思います。

水圏について学びたいと思っている人はもちろん、興味はあるけれど将来やりたいことが明確でないという人も、ここで様々なことを学ぶ中で自分に合った分野を見つけることができます。豊かな自然に囲まれた小浜で、大学生活を満喫してください。

卒 業 生
インタビュー



小浜海産物株式会社 勤務
いち かわ
市川 ちひろさん
2018年度卒業

研究を通して
突き詰めて学ぶ面白さを実感

水産加工品の製造・販売を行う会社で品質管理を担当しています。1年次の授業で企業見学に訪れ、学んだことを活かして地域活性に関わることができそうと思い、今の会社に就職しました。製品の微生物試験や現場の衛生管理を行い、クレームや異常が発覚した場合は原因究明と対策を徹底し、改善に努めています。

学生時代はアオウミウシとシロウミウシの食性と生殖について研究しました。ウミウシの食性は解明されておらず謎が多いのですが、飼育しながら環境を変えて行動パターンを観察することで、シロウミウシが食べている海綿を特定することができました。膨大な情報を整理して正確に伝える難しさ、目的達成のための準備と計画の重要性を学び、分からないことを突き詰めて学ぶ面白さを知ることができました。

フィールドワークや部活動を通して、地域と深く関わることができたのはとても貴重な体験でした。生き物が好きで面白い人がたくさん集まる場所なので、様々な経験をして学生生活を充実させてください。

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



教 員
インタビュー



水圏資源生態学研究室
やまもと まさ ゆき
山本 昌幸 准教授

地域を丸ごと教材にして
海洋を幅広く学ぶ

海の恵みを持続的に利用するためには、多方面からアプローチが不可欠です。本研究室では、水産資源の生態研究はもちろん、乗船調査や市場調査による漁獲の実態把握や、イワシやサバなどの資源変動に関する研究を進めています。また、後継者不足や不安定な収入といった漁業が抱える問題にも向き合い、漁業の活性化に向けて取り組んでいます。

リアス海岸の若狭湾やラムサール条約登録の三方五湖、漁獲状況をすぐに確認できる魚市場など、小浜キャンパスとフィールドとの近さは大きな魅力。協力的な漁業者も多く、現場のリアルな声を聞くことができますので、コミュニケーションスキルを磨き、将来に活かしていけると思います。

鯖街道の出発点であり御食国としての食文化が栄えた小浜。この文化的背景を踏まえ、本学科では環境、生物、食品などの幅広い分野を学ぶことができます。県大は意欲さえあれば多くのことを学べるので、恵まれた環境を存分に活かしてください。

教 員
インタビュー



水圏資源生態学研究室
まつ ばやし じゅん
松林 順 准教授

最先端の分析技術で、
“個体の歴史”を紐解く

私たちが日々利用している食べ物や生活場所の温度、飲み水などに含まれる化学的な情報は、私たちの体の中に記録されています。魚であれば、生息地の温度や塩分といった情報が耳石という組織に、食べ物や生息海域の情報が眼の中にある水晶体という組織に記録されています。こうした組織では、時に木の年輪のように時間軸を刻みながら成長し、一度形成されると後から新しい組織に置き換えられることはありません。このため、こうした組織を成長方向に順番に分析することで、生き物の歴史を個体ごとに復元できます。当研究室では、水圏生物の耳石や水晶体の成分（同位体比）を分析することで、生物の新たな生態や個体ごとの生活の違い、またそれを生み出す要因について研究しています。

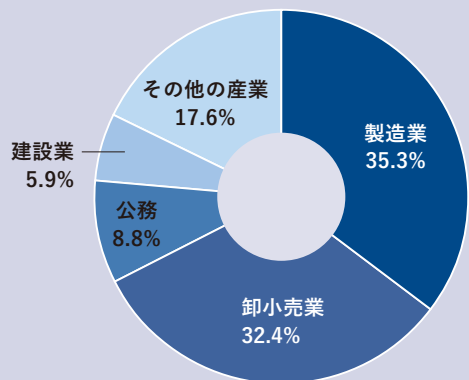
豊かな若狭湾の下に位置する小浜キャンパスでは、こうした研究の対象になる様々な海洋生物を入手することができます。釣りが得意な人は、自分で研究対象となる魚を釣り上げるのも良いでしょう。恵まれたフィールドで、世界をリードする研究を皆さんと一緒に考え、実践していければと思います。

卒業後の進路

就 職 率（2023年度卒業生）

100%

就職 69.4% 進学 22.4% その他 8.2%



キャリア展望

- 食品・水産加工品の研究開発・品質管理、製造業務
- 魚市場、漁業協同組合
- 環境・建設コンサルタント 環境分析
- 水族館、生物飼育産業 観賞魚関連企業
- 医薬品など化学製品の研究開発
- 国家・地方公務員、試験研究機関などの公務員
- 高等学校教員（理科、水産）

卒業生の主な就職先・進学先（過去5年間）

- 〔福 井 県 内〕 福井県漁業協同組合連合会、福井中央魚市、小浜海産物、京福コンサルタント、ゲンキー、福井銀行、福井システムズ、フクビ化学工業、ふじや食品、森永北陸乳業、福井県庁、福井県教育委員会、小浜市役所 など
- 〔福 井 県 外〕 あきんどスシロー、いなば食品、エコー、エステム、キュービー、五洋建設、はま寿司、西日本電信電話、日清丸紅飼料、マルイチ産商、マルハニチロ、楽天、東京都教育委員会、海上保安庁海洋情報部 など
- 〔進 学〕 福井県立大学大学院、東京海洋大学大学院、九州大学大学院、京都大学大学院、総合研究大学院大学、千葉大学大学院 など
- 〔福井県立大学大学院への進学後の就職先〕 天野エンザイム、静環検査センター、積水メディカル、マリン・ワーク・ジャパン、県水産館（福井県、三重県、静岡県） など

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（理科／水産）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。
- 修習技術者
※JABEE（日本技術者教育認定機構）認定校であり、プログラム修了により取得できる。

資格要件が得られるもの

- ※所定の単位修得が必要
- 自然再生士補
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※採用者等が資格の有無を判断するので、就職後採用者等に確認すること。

海洋生物資源学科
Webサイト



先端増養殖科学科

Department of Advanced Aquaculture Science

いまや養殖は世界の漁業生産量全体の50%を超えるようになり、大企業やベンチャー企業の活発な参入、さらには SDGsへの取り組みなど水産増養殖を取り巻く環境が大きく様変わりしつつあります。先端増養殖科学科は、水産科学、ゲノム科学、環境科学、情報科学など幅広い分野の教員による少人数制での研究指導が行われます。また、設備の整った新しい飼育施設と目の前の若狭湾を実験フィールドにして、増養殖の基礎から応用までの知識と技術をシームレスに学ぶことができます。4年間で先端技術を実践的に活用する能力を身に付け、地域、国内はもとより海外でリーダーシップをもって活躍できる人材を育成します。



学びのポイント

01 増養殖に関する基礎知識と専門知識

自然科学、数学、経済学などの基礎をしっかりと修得したうえで、増養殖に必要な知識を体系的に学び、思考して実践するための力を身に付けます。

03 課題を設定し論理的に解決する能力

社会的背景を理解して水産増養殖に関わる課題を設定し、解決のための計画を立案して実践します。そして、得られた結果を客観的に考察して合理的な結論をまとめ、社会実装するための能力を身に付けます。

02 学んだことを実践する能力

知っているだけでは、実際に修得した知識を使うことができません。本学科では、学んだことを養殖の現場で実行する実習に力を入れています。その中で、「なぜ」、「どのように」と思考しながら実践する能力を身に付けます。

04 得られた成果を他者に伝える能力

課題解決に向けて、他者と相互に意思疎通を図りながら行動し、成果をまとめて文章と口頭で論理的にわかりやすく発表する能力を身に付けます。

研究紹介

先端育成科学分野 自然共生増養殖学

はまぐち まさみ
濱口 昌巳 教授



二枚貝や海藻類などの無給餌養殖はSDGsに合致した環境に優しい養殖方法として注目されています。現在、福井県内の海域で採取した種苗を用いて二枚貝や海藻類の増養殖研究を行っており、福井県産の水産物の供給を目指しています。他にもブルーカーボンや沿岸生態系保全のための研究も行っています。

先端育成科学分野 養魚育成管理学

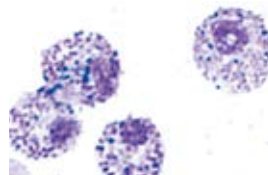
とみなが おさむ
富永 修 特命教授



魚類養殖では、飼料代が経費全体の約6割を占めています。そのため、過剰な給餌は、環境汚染を引き起こすだけでなく、飼料経費の増大にもつながります。私たちは、食べ残しの餌の量を継続的にモニタリングすることで、食欲の時間変化を計測する手法の開発に取り組みしました。現在、この技術を活用して、低コストで計画的に魚を養成する給餌ナビゲーションシステムの開発を目指しています。

ゲノム応用科学分野 魚病学

すえたい ひろあき
末武 弘章 教授



養殖業は世界的な成長産業です。同時に、魚病の発生も拡大しています。また、新たな養殖魚種へのニーズも増えていますが、それに伴い新しい病気も現れてきています。病原体と魚介類の両方を理解し、その相互作用として魚病をとらえ、その対策を考えていきます。

ゲノム応用科学分野 水産育種学

おくざわ こういち
奥澤 公一 教授



この分野では生物の姿形、色や大きい・小さいなど様々な性質を決定している遺伝情報（ゲノム）を利用して、水産物の育種に関する研究を進めます。人にとって望ましい、成長が良い、病気に強いといった性質を持つ魚介類をどうしたら効率よくつくれるかを考えます。性質を決める遺伝子の研究などにも取り組みます。

情報・社会科学分野 海洋ゲノミクス

にしつじ こうき
西辻 光希 准教授



「海藻の花」を見たことがありますか？そうなんです、植物ではない海藻では、花が咲きません。人為的な交雑は難しく、海藻の品種改良は極めて困難です。けれども気候変動の影響もあり海藻生産量は世界的に減少していて、新たな品種が求められています。このような問題をゲノムや遺伝子という観点から、次世代シーケンサーを用いた生命情報科学で解決し、新たな海藻品種の作出を目指しています。

情報・社会科学分野 水産情報解析学

とけし つとむ
渡慶次 力 准教授



私たちは、とにかく現場に行き、漁業者等との意見交換を通して水産現場の課題を見つけ、関係者と一緒に取り組みながら、情報科学を駆使して課題を解決していきます。そのため、レーダーで海の流れを計測、ズワイガニ資源量の推定、養殖魚のブランド化など、他大学、国や地方公共団体、民間企業と協働しながら、情報科学を切り口に色々な研究を行っています。

先端育成科学分野 水圏保全生態学

たはら だいすけ
田原 大輔 教授



多くの養殖ではその種苗を天然で捕獲した稚魚に依存していますが、天然資源は不安定かつ減少傾向にあります。そのため、人工的に種苗を生産することができれば、安定かつ周期的に養殖を営むことが可能になります。福井県特産種のアラレガコ（カマキリ）を中心に魚類の効率的な種苗生産技術の開発に取り組んでいます。また、放流に頼らない増殖方法に関する研究も進めています。

先端育成科学分野 飼料栄養学

さとう しゅういち
佐藤 秀一 教授



現在、世界の水産養殖業は目覚ましい発展を遂げております。今までは、水生動物に魚由来の原料で作った飼料を与えてきましたが、水産養殖の発展に伴い原料の供給が難しくなってきました。そこで、魚を使わない飼料、すなわち植物性原料でつくる飼料の開発を行い、ベジタリアン養殖魚の創生を目指しています。

ゲノム応用科学分野 免疫学

たきざわ ふみお
瀧澤 文雄 准教授



養殖魚の感染症対策として免疫系を活性化させるワクチン接種が行われていますが、ワクチンがどのように魚に効いているのか不明な点が多いです。私たちはどうやって魚の免疫細胞がワクチンによって活性化して病原体を撃退しているか調べ、魚の免疫系の特徴を理解することにより、養殖魚を感染症から守ることを目指しています。

ゲノム応用科学分野 生物工学

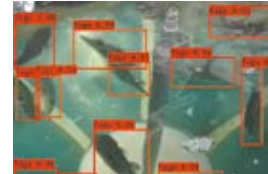
よしうら やすとし
吉浦 康寿 教授



農作物や家畜では1万年以上の歴史があり、私たちの生活を豊かにする様々な品種があります。一方、魚類養殖はわずか50年のため、品種改良が遅れています。ゲノム編集などの新しい品種改良技術を魚介類に導入し、育種をスピード化することで安く美味しい水産物を届けることを目指しています。

情報・社会科学分野 動物情報工学

やすぎ まさき
八杉 公基 准教授



養殖水槽を泳ぐ魚の成長や健康状態を調べるためには、魚を水から出して計測するのが一般的です。しかしこの方法では、計測することで魚が弱ってしまう可能性があります。そのためにかかる労力も決して少なくありません。画像処理やAIを利用することで、水槽内に撮影した動画画像から魚を検出して、魚の成長の様子や健康状態をモニタリングできる手法の開発に取り組んでいます。

情報・社会科学分野 養殖ビジネス学

ひがしむら れいこ
東村 玲子 准教授



世界各地の水産業の現場を見て歩いていきます。カナダ、アラスカ州、インドネシア、ミャンマーなどで漁業と水産加工業の調査をしています。写真は、カナダで1週間毎日漁船に乗船させてもらった後で「もう乗組員として合格だな!」と言ってもらった時のものです。



先端増養殖科学科

つじ むら さ り

辻村 咲里さん

福井県立若狭高等学校出身



先端増養殖科学科

たか た ひろ や

高田 寛也さん

埼玉県立春日部高等学校出身



マーケティングの視点から 地域の水産業を盛り上げたい

マーケティングの視点から

養殖業のマーケティング戦略に興味があり、地元が好きだったこともあって本学科を選びました。本格的な研究に取り組むのはこれからですが、今は情報科学の切り口から水産業のさまざまな研究を行う先生のもとで、養殖業の知名度を調べるアンケート調査を手伝っています。この先データをマーケティングにどう活かしていくのか、学ぶのが楽しみです。将来は地域の水産業を盛り上げ、地域活性化につながる活動に取り組みたいと考えています。

グループでの実験や学外へ出でのフィールドワークなど、本学科では体験しながら楽しく学ぶことができます。1年次のフィールド演習で、しじみを獲ってストラップ作りをしたのはとても印象に残っています。さまざまな体験を通して、座学で学んだことの理解が深まってくのを実感しています。

先生との距離が近く、気軽に質問できる雰囲気も魅力です。できたばかりの新しい「かつみキャンパス」で最先端の技術を楽しく学びましょう。

五感を使った実践的な 学びで理解を深める

五感を使った実践的な

幼い頃から生き物が好きで、高校時代には友人と釣りをして魚に関心を持つように。そのうち海洋資源の回復や環境について学びたいと考えるようになり、養殖に特化した本学科を目指しました。

将来は日本近海の資源回復の研究に携わりたいと考えています。現在の栽培漁業（人為的な環境で育てた稚魚を放流し、成長した魚を獲る漁法）では、生態系ピラミッドの上の方に位置する魚種のみが放流されています。しかし十分なエサがなければ放流の意味がないので、海中の一次生産者となる植物プランクトンを増やす研究をしたいと思っています。研究室配属は3年次の後期からなので、今は前段階として先生の研究の見学や手伝いに励む日々です。

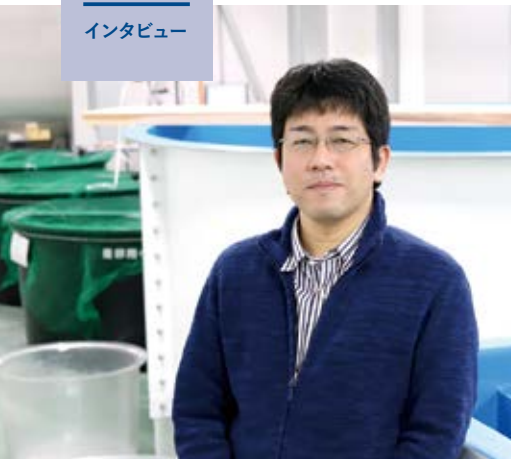
本学科では養殖に必要な知識や技術を座学だけでなく実験・実習などで体を動かして学ぶことが出来ます。面白かったのは、伝統的なアユ漁法のさぎり漁体験。獲ったアユはアユ料理屋で食しました。色んな体験をして経験を積みたい方、ぜひ一緒に学びましょう！



ゲノム応用科学分野 水産育種学

おく ざわ こう いち

奥澤 公一 教授



情報・社会科学分野 動物情報工学

や すぎ まさ き

八杉 公基 准教授

知識とスキルを習得して 今後の水産業界を担う人材に

知識とスキルを習得して

生物の姿形、色や大きさなど様々な性質を決定している遺伝情報（ゲノム）を利用した水産物の育種に関する研究に取り組み、成長が良い、病気に強いといった利用価値の高い性質を持つ魚介類を効率よくつくる手法を探っています。時間のかかる研究だけにいい結果を得られた時は大きな達成感があり、また、人工授精で得られた顕微鏡レベルの受精卵が1kg以上の成魚に成長する生命の神秘にも触れられます。

現状、水産分野での遺伝育種学の知識を持つ人は多くありません。研究を通して、遺伝のしくみ（遺伝学）や交配の仕方（育種学）、産卵誘発（繁殖生理学）やデータサイエンスなどの知識とスキルを身に付け、国や地方自治体の研究機関、大学、民間企業などで育種プログラムの立案、実施や水産育種に関する研究に従事し、活躍してほしいと願っています。

豊かな自然に囲まれたキャンパスは、養殖場も近く、少人数ゆえのアットホームさが魅力。こじんまりとした大学ならではの良さを実感してください。

予備知識は不要！ 増養殖をイチから楽しく学ぶ

予備知識は不要！

魚のモニタリング技術について研究しています。動画像から魚を検出し、成長や運動、個体差などの情報を収集する手法の開発や、その応用に取り組んでいます。スマート漁業は人手不足解消にも活用されており、プログラミングによる画像処理やAIを活用したシステム開発が進めば、人間の目視では難しい恒常的な養殖水槽の維持管理が可能になります。プログラミングやICT、IoTの技術を理解し主体的に扱える人材は、今後幅広い分野で活躍できるでしょう。

本学科では水産科学、ゲノム科学、環境科学、情報科学といった多様な専門性を持つ教員に加え、福井の水産養殖現場に携わる方々を講師に迎えており、学際的かつ分野横断的な学びが可能です。海が近いという立地の良さも魅力の一つ。フィールド演習では学生たちが楽しそうに学んでいます。

予備知識がなくてもバラエティ豊かな教員たちがイチから指導しますので心配いりません。少しでも増養殖に興味があれば、きっと楽しく学べることでしょ

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1 年 次 水産増養殖を学ぶための 教養を身に付ける	2 年 次 水産増養殖の基本的な 知識を学び応用力を養う	3 年 次 社会とのつながりを意識して 実践能力を高める	4 年 次 課題を設定し、 解決する能力を鍛える
専門基礎科目	生物学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ、数学基礎 海洋生物資源学フィールド演習	化学Ⅱ、科学者および技術者倫理 生物学実験、化学実験		
学部共通		生化学、分子生物学、藻類学概論 大気・海洋学概論、漁業制度論	基礎演習	専攻演習 卒業論文
増養殖研究	基礎科目	水産増養殖学概論、海洋生物学 動物生理学、魚類生理生態学 増養殖統計学Ⅰ、水族遺伝育種学Ⅰ	基礎科学英語、専門科学英語	
	応用科目	水圏種苗生産学、養魚育成学、藻類養殖学 魚類免疫学、水族発生工学、水産経済学 水産物流通論、国際海洋ビジネス論	飼料栄養学、水族病理学、水族遺伝育種学Ⅱ 生命情報科学、ICT応用工学 増養殖統計学Ⅱ、地域活性学	
	幅広い視野の涵養	食品安全管理論	水産資源学、水圏微生物生態学、水産施設工学 地学概論、沿岸海洋学、海洋化学、水産資源利用学	
実験・演習		増殖学実験、養魚育成学実験 魚類免疫学実験	増養殖環境学実験、遺伝育種学実験 情報科学演習、水産物流通演習、基礎演習	
実習		養殖学実習Ⅰ 養殖インターンシップⅠ	養殖学実習Ⅱ、養殖インターンシップⅡ(海外) インターンシップ	

※2024年度カリキュラム

キャリア展望

- 水産養殖に関する生産・育成の分野
民間企業、漁業協同組合などの養殖生産業、観賞魚生産、ペット産業
- 水産物の加工販売や水産ビジネスの分野
食品会社、水産加工会社、流通、商社、水産物販売、観光業、起業
- 情報・環境・コンサルタントに関連する分野
IT・Web関連、ソフト開発、環境調査会社、環境コンサルティング
- 水産増養殖に関連する技術開発・研究の分野
水産関連の国・地方・独立行政法人などの公設試験研究機関、民間研究機関、水族館、養殖関連機械・飼料生産メーカー
- 水産分野に関する政策立案・教育指導・国際貢献の分野
国・都道府県・市町村の公務員、教員、国際機関、青年海外協力隊
- 大学院への進学

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（理科／水産）
※教職課程を修了することにより得られる。

資格要件が得られるもの

- 食品衛生管理者および食品衛生監視員
※所定の単位修得が必要。採用者等が資格の有無を判断するので、就職後採用者等に確認すること。

先端増養殖科学科
Webサイト



看護福祉学部

Faculty of Nursing and Social Welfare Sciences

看護学科 / 社会福祉学科

看護福祉学部は、看護学科と社会福祉学科の二つの専門性の高い学科からなります。看護学科では看護師・保健師、社会福祉学科では社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験資格を得ることができ、ともに高い合格率を維持しています。また、教員免許状（養護教諭一種あるいは高等学校教諭一種（福祉））の取得もできます。



学部の特長

01 看護学と社会福祉学の融合

看護学は保健・医療を対象とし、社会福祉学は生活・福祉を対象とします。両学科では「人の健康と生活」という共通のテーマを追求します。すなわち、人を健康と生活の両面から広くとらえ、高い専門性と倫理観を習得できます。



02 地域や国際交流による豊かな人間性と社会性の育成

地域住民との積極的な交流や、看護や社会福祉における実地経験を通して社会の一員としての自覚を養えます。また、米国の大学との定期的な人的交流を通して国際性を育めます。



03 デジタル教育技術の積極的活用

看護学科と社会福祉科に共通の実習シミュレーションシステム導入とICT利用による双方向性の遠隔教育を効率よく取り入れ、感染や天災時でも持続的な質の高い学修を維持できます。これは、座学と臨地実習の架け橋ともなります。



看護学科

Department of Nursing Science

ヒューマンケアの理念のもと、人々の健康生活を支援できる専門的人材の育成を目指しています。少人数教育を通して看護およびその対象である人間と生活への理解を深め、人々の多様なニーズに対応できる知識と技術を修得できるよう支援します。学生が相互に刺激し合えるようグループワークやディスカッションを多く設けています。また、保健・医療・福祉の包括的な視野をもち、多職種と連携・協働しつつリーダーシップを発揮できる人材を育成しています。



学びのポイント

01 情報通信技術（ICT）を活用した演習により臨床判断能力を培う

看護学の演習・実習で「多職種連携ハイブリッドシミュレータ」や小児シミュレーター「Sim Junior」をフルに活用しています。シミュレーターに搭載されている多様な事例を用いて、看護の専門的知識の活用能力と臨床判断能力、技術力の向上を目指します。

03 病院、施設、地域、在宅の場で看護の実際を学ぶ

看護学実習では、病院、施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、県・市町の行政機関など多様な現場で、対象者のライフサイクルや健康レベルに応じた看護を実践します。実習を通して、豊かな感性、倫理観、個人・家族・地域住民の多様なニーズに対応できる実践力が身に付きます。

02 地域高齢者と交流しコミュニケーションの土台を築く

1年生前期に開講される「健康生活支援演習」では、地域高齢者と世代間交流を行います。この演習を通して入学後早い段階から対象理解・関係性構築のためのコミュニケーション能力を身に付けることができます。交流後は地域住民の生活と健康の課題について、グループワーク・発表・ディスカッションを行い、学びを深めます。

04 看護におけるマネジメントや研究の基礎を学ぶ

4年生開講の「看護マネジメント実習」では看護の現場におけるリーダーシップやマネジメントについて学びます。「卒業研究」では研究のプロセスを踏むことにより研究の基礎を学び、看護職に必要な科学的思考力と看護の専門性を探求する態度が身に付きます。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	看護の基礎 一般教育科目や社会福祉学科との共通関連科目、専門基礎科目を履修します。専門基礎科目では人体の構造・機能や病気の成り立ちなどを学び、専門科目では基礎看護技術、看護理論など看護の基礎を学びます。	看護の対象・場の理解 看護の対象である、さまざまなライフサイクル・健康レベルにある人々や病院・施設・在宅などの療養生活の場を理解する専門科目が加わります。2年次前期には病院に入院中の患者を受けもつ基礎看護学実習があります。対象に必要な日常生活援助を実践しながら、看護職としての高い倫理観を育み、看護過程を展開する基本的能力を修得します。	看護の実践 3年次前期はライフサイクルと健康レベル、看護の場に応じた看護の実践方法について学びます。後期は看護学実習です。病院・施設・在宅などの場で多様な人々と信頼関係を築きながら、広く深く看護の実践能力を身に付けます。保健師の資格取得を目指す人は、看護学実習終了後、公衆衛生看護学に関する科目を履修し4年次の実習に備えます。	看護の発展 学修領域が看護の発展へと広がり、看護マネジメント学、災害看護学、看護情報学などを学びます。また最終実習である看護マネジメント実習があります。卒業研究では関心のあるテーマについて、教員の指導のもと、自主的・計画的に研究を遂行し卒業論文を完成させます。
共通関連科目	病気・人間・社会福祉のまちづくり論	社会政策、居住福祉論 医療福祉工学、社会調査の基礎		
専門基礎科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ 精神保健、公衆衛生学 社会保障・社会福祉概説	臨床栄養学・生化学、臨床薬理学 微生物・免疫学、病態生理学、臨床病態学Ⅲ・Ⅳ 疫学、保健医療福祉行政論、保健統計学		
専門科目	看護の基礎 看護学概論、看護理論、基礎看護技術 臨床看護技術、健康生活支援演習 基礎看護学実習Ⅰ	看護過程展開論 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅱ、看護倫理学		
	看護の対象・場の理解と実践方法	母性看護学概論、小児看護学概論 成人・老年看護学概論、緩和ケア論 急性看護学、セルフケア支援論 老年看護援助論、地域・在宅看護学 精神看護学概論、精神看護学 公衆衛生看護学概論、保健指導論 公衆衛生看護学活動論Ⅰ、学校保健Ⅰ	母性看護学、母性看護学演習、小児看護学 小児看護学演習、急性看護学演習 セルフケア支援演習、老年看護援助演習 地域包括支援論、地域・在宅看護学演習 精神看護学演習、公衆衛生看護学活動論Ⅱ 政策形成過程演習、公衆衛生看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 公衆衛生看護管理論、産業保健論、学校保健Ⅱ	
	看護の実践		母性看護学実習、小児看護学実習、急性看護学実習 セルフケア支援実習、緩和ケア実習、老年看護援助実習 精神看護学実習、地域・在宅看護学実習、地域包括支援実習	公衆衛生看護学活動展開実習 公衆衛生看護管理実習
	看護の発展		看護研究方法論	卒業研究、看護マネジメント学、看護マネジメント実習 看護教育学、災害看護学、看護情報学、看護倫理発展セミナー がん看護発展セミナー、生体看護発展セミナー 小児看護発展セミナー、精神看護発展セミナー 家族看護発展セミナー、認知症看護発展セミナー

※2024年度カリキュラム

PICK UP CLASS

地域・在宅看護学



新カリキュラムで一層強化された在宅看護の実践的な学び

ふしょう さなえ 普照 早苗 准教授 うめづ ちかこ 梅津 千香子 准教授

「地域・在宅看護学」は、2022年の看護教育カリキュラム改定により、「在宅看護論」から、新たに「地域・在宅看護論」に名称変更し、単位数も増加、対象や療養の場の多様化に対応できるよう教授内容も充実されました。本学では、講義⇒演習⇒実習という流れで、専門知識を学修し、学内で繰り返し看護技術の演習、さらに実習では、訪問看護ステーション等地域の現場で実践力を磨きます。近年、社会のニーズによって、在宅看護の現場で活躍する訪問看護師も急増してきました。本学では、卒業後すぐに訪問看護師として働く実践力の高い人材（人財）を育成しています。

母性看護学概論



母性看護の概要を理解し、自分の性について考える機会に

いわたに くみこ 岩谷 久美子 教授

「母性看護学概論」は、母性看護の基盤となる概念と女性のライフサイクルに応じた発達課題について学びます。さらに、ジェンダーやリプロダクティブヘルス/ライツについて学び、自分の性について深く考える機会とし、生殖のメカニズムや生命倫理・人権についても考察する機会となります。現代社会の中で産むことと子育てに関する現状と課題を考え、それが時代によって変化すること・しないこと等についても学習の機会とします。また母性看護にかかわる国際化の現状や問題点、母子保健に関する歴史・動向・法律・施策についても扱いますので、母性看護について広く学ぶ機会となります。



経験を糧に患者さんに
寄り添った看護を

看護学科

たか さき ゆう すけ

高崎 湧介 さん 福井県立羽水高等学校出身

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



小学生の頃に手術を受け、幼い私に寄り添った看護に心動かされた経験から看護師を目指すことに。少人数教育に加え、社会福祉学科との共通関連科目で視野を広げられることに魅力を感じ、県大を選びました。

悩みや不安には先生方が親身に相談に乗ってくださいます。教科書だけでは得られない、豊富な実践経験に基づくアドバイスをくださるので、自信を持って看護に臨めています。一番興味があるのは、手術前後の患者さんとの関わりを学ぶ「急性看護学」。子どもの頃の手術の経験があるから

こそ、改めてその大切さを実感でき、新しい発見もありました。看護を受けた側としての経験を活かして、将来は急性期病院で患者さんの辛さに寄り添える看護をしたいと思っています。

一般教育科目や部活では、県外出身の学生や他学部生との交流を通して多様な知識を身に付けることができます。学業と部活の両立は大変ですが、その分大学生活は充実しています。県大は“したいことが叶えられる大学”です。一緒に夢に向かって頑張りましょう！



海外での研修で見つけた
目指したい道

福井赤十字病院 勤務

にし まえ はる な

西前 晴奈 さん 2020年度卒業

在学中の海外研修で訪れたアメリカのフィンドレー大学で、救急の現場を実際に見て、そこで働く日本人看護師から日本とアメリカの看護スタイルの違いなどを聞き、将来は海外で看護をしてみたいと思うようになりました。就職は、災害救護支援や国際活動に力を入れている赤十字病院へ。現在は脳神経外科と神経内科の混合病棟で、脳梗塞や脳出血による半身麻痺など介護度の高い患者さんの看護に当たっています。

看護師のほか保健師の国家試験受験資格が取得可能な

こと、養護教諭の教員免許状が取得可能なことに魅力を感じ、県大を選びました。少人数制なので、グループに分かれて行う看護実習でも1グループに1人先生がついてくださり、実習先の病院に同行してくれます。慣れない環境の中、知っている先生が病棟にいてくれるのはとても心強かったです。

看護の専門科目以外の一般教養や「福井を学ぶ」など福井に関する科目があるのも魅力の一つ。他にも部活やサークルなど、大学ならではの多様な人との交流を楽しんでください。

卒業後の進路

就 職 率（2023年度卒業生）

100%

就職 96.4% 進学 1.8% その他 1.8%

医療・福祉 94.3% 公務 5.7%

卒業生の主な就職先（過去5年間）

看護師

〔福 井 県 内〕 福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井厚生病院、福井循環器病院、光陽生協病院、嶋田病院 など

〔福 井 県 外〕 金沢大学附属病院、大阪大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、慶応義塾大学病院、千葉大学医学部附属病院、国立国際医療研究センター病院、国立がんセンター中央病院、滋賀医科大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、東京医科歯科大学病院、石川県済生会金沢病院、岐阜県総合医療センター など

保健師

都道府県、市町村、企業

養護教諭

小学校、中学校、高等学校

進学

大阪大学大学院、敦賀市立看護大学（助産学専攻科） など

■ 大学院 修士課程・博士後期課程への進学

2023年度、大学院健康生活科学研究科（博士後期課程）が開設されました。福井県内の看護系大学では初の博士後期課程となります。大学4年間で学んだことを、修士課程で発展させ、さらに博士後期課程へ進学するという一貫した教育を受けられます。博士後期課程では、看護学と社会福祉学を融合した領域横断的な視点から研究を行います。大学院へ進学することで、看護学を深めるだけでなく、健康課題と生活課題の両方の視点から考えられる視野の広い、実践者、教育・研究者への道が広がります。

取得可能な資格・免許状

■ 看護師国家試験受験資格

■ 保健師国家試験受験資格
※保健師課程の単位を修得することにより得られる。

■ 養護教諭一種免許状

※教職課程の単位を修得することにより得られる。

国家試験合格率 （令和元年～5年度の平均） ※大学等の新卒者の合格率

■ 看護師

97.4%

■ 保健師

97.2%

社会福祉学科

Department of Social Welfare Science

ソーシャルワーカーとは、自分自身と社会資源を活用して、発達、疾病、障害、育児、介護、高齢、貧困、虐待、暴力などによる生きづらさを抱えている人を支援する専門職です。本学科では、講義・演習・実習を組み合わせ、クライアントとのつながりや地域との関わりを体験しながら学び、クライアントに共感できる豊かな感受性を育みます。多様な人々がつながりあって暮らせる社会を創造するための実践力をもつ人材を育成しています。



学びのポイント

01 看護学科との 共通関連科目により 医療・保健の 知識も修得

健康の概念や病気・障害の特性を知っておくことは、社会福祉士や精神保健福祉士が相談・支援活動を行ううえで極めて有効です。看護学科との共通関連科目により、実践で役立つそれらの知識を幅広く得ることができます。

02 少人数教育で きめ細やかに 学修指導

徹底した少人数方式で指導します。多彩な専門分野の教員が学生の個性を尊重しながら、福祉現場での実習から卒業研究、資格取得まできめ細やかに学修指導を行います。

03 社会福祉士と 精神保健福祉士の 国家試験受験資格 教員免許状の取得

社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することが可能です。さらに教職課程を選択すれば、高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得することができます。

カリキュラム

4年間の学びの流れ

	1年次 社会福祉の基本と 共通科目を学ぶ	2年次 専門科目の学びが 本格的に	3年次 援助技術を身に付け 現場実習を行う	4年次 卒業研究に取り組みソーシャル ワーカーとしての知識を総合する
共通関連科目	病気・人間・社会 居住福祉論 福祉のまちづくり論	社会政策、医療福祉工学 社会調査の基礎		
専門科目	社会福祉学概論 社会理論と社会システム 法学概論、現代人権論 医学概論 ソーシャルワーク論／演習	アンケート調査の設計と分析 社会保障論、児童家庭福祉論 高齢者福祉論、障害者福祉論 社会福祉発達史、地域福祉論 国際福祉論 スクールソーシャルワーク論 ケア概論、所得とニーズの保障 社会問題論、民法（家族法） 発達心理学、心理学概論 精神医学、精神保健 精神保健福祉の原理 ソーシャルワーク論／演習／ 実習指導	公的扶助論、保健医療と福祉 更生保護論、社会福祉管理運営論 ソーシャルワーク特別講義 権利擁護を支える法制度 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論 ソーシャルワーク演習／実習／ 実習指導 精神保健ソーシャルワーク論／ 演習／実習指導	共生社会論 社会的起業論 ソーシャルワーク特別講義 精神保健ソーシャルワーク演習／ 実習指導／実習
総合部門	現代福祉問題論、入門演習	社会福祉基礎演習、外書講読	社会福祉演習	卒業研究

※2024年度カリキュラム

PICK UP CLASS

地域福祉論Ⅰ・Ⅱ



開発途上国と先進国の両者を 視野に入れた地域福祉の学び

さの おさむ
佐野 治 教授

私たちに身近な地域のことばかりに目を向けると、遠いアフリカで飢餓などによって苦しんでいる人々のことを我が事にできなかったり、遠いアフリカのことばかりに目を向けると、身近な地域社会で起こっている生活課題に関心が薄れてしまったりすることがあります。これら開発途上国と先進国で起こっている現実に対して、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、社会正義や人権という普遍的な原理を軸に結びつけながら、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活できるように援助活動を展開します。地域福祉論では広い視野を持ったCSWになるための基本的な知や手法を国内外の具体的事例を通して学びます。

社会福祉基礎演習



生活問題と社会問題への 関心を深める

きむら たかこ
木村 多佳子 助教

社会福祉基礎演習は2年次の必修であり教員別ゼミに分かれて学ぶ科目です。前期は「多文化共生社会」「定住外国人」「移民」といったテーマで文献講読、ドキュメンタリー視聴を行い、生まれ育った国で母国語での生活では気づかない教育・労働・在留資格・生活適応に関して様々な世代が出合う生活問題、そして制度上の問題についてプレゼンテーションとディスカッションできることをめざします。そして、後期は「社会的排除」「社会的孤立」に関する文献講読、国内の調査結果から各学生が関心を持つようになった対象や社会問題についてプレゼンテーションすることを最終課題としています。



お互いを高めあえる
居心地の良い環境

社会福祉学科

みょう
明 ひなたさん 福井県立武生高等学校出身

人の役に立つ仕事がしたいと思い、カリキュラムが自分にマッチしていた本学科を選びました。社会福祉士と精神保健福祉士の2つの国家試験受験資格と教員免許状を取得できるのも決め手でした。アットホームな雰囲気で先生も学科の仲間たちも大らかな人が多く、とても居心地の良い環境です。

ソーシャルワークに必要な面接技術や制度等を学ぶ中で、言語化はソーシャルワークに必須のスキルだと実感しました。自分の無意識の価値観に気づくことができるので、今後もしっかり言語化していきたいです。また、社会福祉に

は「ストレングス」という、人の長所や強みを生かす支援方法があります。短所は言い換えれば必ず長所になると気づき、自分を好きになれました。素敵な考え方をもっと広めたいと思っています。

ボランティアサークルでは様々な年代の方と接し、コミュニケーションの楽しさを知りました。周囲のみんなが勉強だけでなく、留学やサークル、アルバイトなどを頑張っていて、そんな雰囲気が自分にも合っているのも、県大を選んで間違いなかったと思います。

INTERVIEW VIDEO

インタビュー動画はこちら



幅広い知識とスキルを武器に
相談者に寄り添った支援を

福井市役所 勤務

マ ム ドュ
サノゴ 真夢土さん 2022年度卒業

現在は市役所の福祉政策課福祉総合相談室で、主に住民の生活の困りごとに関する相談業務を行っています。相談者の抱えている課題は一朝一夕で解決できるものではありません。時には長い付き合いになることもあります。関係機関と連携しながら相談者と共に生活について考え、生活状況の改善に努めています。

卒論では、地域と一体になって行う包括的な支援体制（重層的支援体制）の実現に向けて、支援が届いていない人に支援機関の方から働きかける「アウトリーチ支援」の形態に

ついて研究しました。複数の機関が関わりながら適切な支援を行うためには、それぞれの特色や役割の把握が重要であり、幅広い知識が求められます。本学科では社会福祉の多分野を学び、相談支援技術など実践的なスキルも習得できるので、研究にも今の仕事にも大いに活かすことができました。

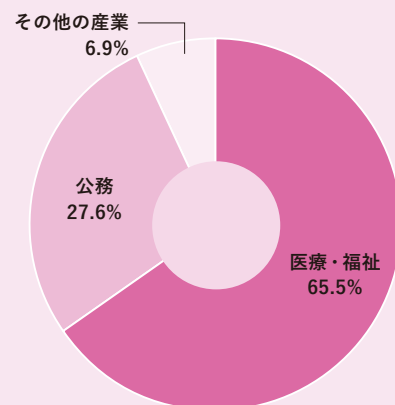
県大での4年間は、多様な学びを通して自分の新たな可能性や進みたい道を見つけることができる4年間です。様々な刺激や学びを得て成長してください。

卒業後の進路

就 職 率（2023年度卒業生）

100%

就職 93.5% 進学 3.2% その他 3.2%



キャリア展望

- 生活相談員・生活支援員
- 高齢者施設職員
- 障害者支援施設職員
- 児童指導員（児童福祉施設）
- 福祉活動専門員（社会福祉協議会）
- ケースワーカー（福祉事務所）
- 児童福祉司（児童相談所）
- 医療ソーシャルワーカー
- スクールソーシャルワーカー など

卒業生の主な就職先（過去5年間）

[福 井 県 内] 光道園、足羽福祉会、かすみが丘学園、福井村田製作所、福井県済生会病院、福井赤十字病院、福井県社会福祉協議会、永平寺町社会福祉協議会、福井県庁、福井市役所 など

[福 井 県 外] 各種社会福祉法人、日本年金機構、石川県庁、東京都庁 など

取得可能な資格・免許状

- 社会福祉士国家試験受験資格
※指定科目を修了することにより得られる。
- 精神保健福祉士国家試験受験資格
※指定科目を修了することにより得られる。
- 高等学校教諭一種免許状（福祉）
※教職課程の単位を修得することにより得られる。

国家試験合格率

※大学等の新卒者の合格率

資格	本校合格率	全国平均
社会福祉士	96.6%	76.8%
精神保健福祉士	100%	82.5%

厚生労働省から発表された令和5年度国家試験の学校別合格率において、本学は全国平均を上回る高い合格率を示しています。

一般教育

General Education



多彩な知識と判断力を育む、多彩な講義科目

大学での授業は、各学部・学科の専門知識を学ぶ専門科目と、広く一般の知識を学ぶ一般教育科目に分かれています。一般的に、1年次・2年次では主に一般教育科目の単位を中心に取り、3年次以降は専門科目の比重が高まります。多角的な視点を持った教養人の育成を目的とした豊富な科目を開講しています。

カリキュラム

基礎科目	外国語	英語、中国語、韓国朝鮮語 ほか
	情報	情報科学、情報基礎演習 (ICTリテラシー)、情報処理基礎演習／統計処理演習 (データサイエンス)
	ゼミ	導入ゼミ、教養ゼミ
	体育	体育実技
自由科目	歴史と思想	哲学、倫理学、宗教学、歴史学、東洋思想、西洋思想、東洋史、西洋史 ほか
	表現と言語文化	言語学 ほか
	現代の社会	社会学、現代家族論、政治学、経済学、法学、日本国憲法、現代人権論、キャリア形成論 ほか
	世界の文化と社会	地理学、神話学、東アジアの文化と社会 ほか
	情報と数理	数学基礎、統計学基礎、解析学、代数学、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ ほか
	福井と地域社会	恐竜学、福井を学ぶ ほか
	健康と人間	スポーツ科学、心理学、ジェンダー論 ほか
	アドバンスト科目	言語文化 (中国、韓国朝鮮)、運動処方論、情報処理、プログラミング ほか

※2024年度カリキュラム。科目は変更となる場合があります。



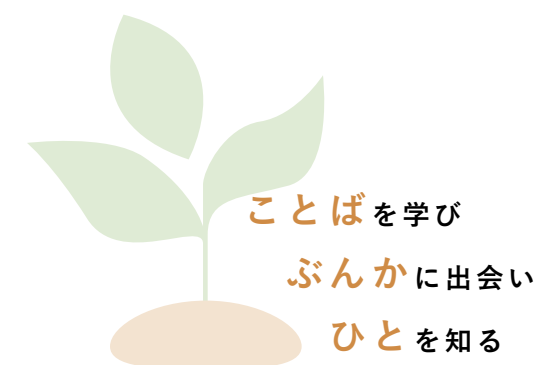
学術教養センター

Center for Arts and Sciences

学術教養センターは、全国でも珍しい一般教育科目のための専門の機関です。それは本学が、一般教育を学生の人格形成を担う「教養教育」として捉え、各学部での専門教育と同じように重視しているしるしです。

語学教育

外国語を学ぶことは、異なる文化に触れる冒険です。新しい言葉を学ぶたび、未知の世界が広がり、異なる視点で世界を見ることができます。異文化と触れ合う経験は、自らを発見し、豊かな人間性を築きます。新たな言語を習得することで、言葉だけでなく、その背後に潜む歴史や文化も理解できます。異なる文化に触れることで、自分の枠を超え、広い視野で物事を見る力が身に付きます。



PICK UP CLASS

英語Ⅱb



文学作品で英語を学ぶ

ながおか あき
長岡 亜生 教授

英語科目としては、必修科目のほか各々の関心や目的に応じて自由に選択できる多種多様な授業を展開しています。この授業では読解力を鍛えることを主目的とし、英米の文学作品を用いて英語を学習します。高校までに学んだ文法や構文を確認しながら、まず内容をとらえ、一語一句ていねいに読んでいきます。グループワークで疑問点なども確認し合います。文学作品の精読を通して、言語だけでなく、その背景にある、日本とは違う文化や社会について学ぶことができ、現代社会を生きていくうえで必要な思考力や想像力も育まれます。物語の面白さを堪能し、世界を広げましょう。

英語特論



Becoming an Engaged, Reflective, and Independent Language Learner

Jared Denman 准教授

Elective English classes are for students who wish to further develop their language skills with similarly motivated peers, including international students. In several of these, instruction, class materials, and assessment are conducted entirely in the target language, simulating a study abroad experience. Students are encouraged to speak up during discussions, to reflect on their engagement in activities, and to take an active role in becoming independent language learners.

学術教養センター

一般教育プログラム



私たちは1000年前の人々とどう違うのか？

まつもと さやか
松本 涼 准教授

大学時代に中世アイスランドのサガと呼ばれる物語に出会い、アイスランドの歴史を研究してきました。授業ではヨーロッパの歴史や北欧神話について教えています。歴史や神話は遠いものに見えますが、実は身近な生活や文化につながっています。たとえば、北欧神話は漫画『進撃の巨人』などにも活用されました。北欧神話には巨人を殺害してその身体から世界を創るという創世神話に代表されるように残酷な描写も多いですが、その残酷さ、過酷な世界観こそ先の見えない現在を生きる人々の心に響くのかもしれません。しかし、巨人の身体を利用した世界創造には家畜の血や肉を無駄なく利用する牧畜民の生活が反映されているという解釈もあり、過去の人々にとっては残酷な話ではなかったかもしれません。21世紀の人間がどのような特徴をもった生き物なのか、一緒に考えてみませんか。



「法的思考（リーガルマインド）」を身に付けよう

こんだ けいた
根田 恵多 准教授

憲法学者として、信教の自由や平等権などについて研究しています。授業では、ジェンダー、いじめ、暴力団、スポーツ、安楽死、地球環境、インターネット、AI・ロボットなど、さまざまなトピックを取り上げて、法学の観点から議論しています。本学に法学部はありませんが、どの学部で学ぶ方にとっても、「法的思考（リーガルマインド）」は役に立つと思います。「法を解釈し、事実に応用する」という枠組みを身に付けることで、説得力のある主張ができるようになるはずです。そんな法的思考を実践している法律家たちの生の声に触れるために、裁判所に傍聴に行ったりもしています。法的思考を身に付けたい方、一緒にとことん議論してみたい方、お待ちしております。



現代社会の問題を掘り下げて考えてみよう

かとう
加藤 まどか 准教授

家族、ジェンダー、ケアに関わるテーマで研究をしてきました。授業では、家族の変容、子育てや高齢者介護、学校教育や雇用・労働における問題などを解説しています。問題の背景について理解を深めると、より柔軟な捉え方ができるようになります。学術ゼミでは、ケアに関わる問題について、文献を読んだり、映像資料を視聴したりして議論しています。教養ゼミでは、子どもの権利、貧困、児童虐待等を学び、学童期の子どもへの支援について学ぶために放課後児童クラブでの活動も行っています。皆さんの受講をお待ちしています。

情報センター

Center for Information Science

情報センターでは、専門教育の基盤となる知識を養い、情報活用能力や技能を育成するために、全学共通教育として、数理・データサイエンス・AI基礎教育を提供しています。また、教育・研究活動を支援するため、学内ネットワークや各種情報システムなどのICT環境を整備するとともに、学びのDXを推進しています。

全学数理・データサイエンス・AI教育プログラム



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

MDASH
Literacy
Apprenticeship Program for Mathematics,
Data Science and AI Special Technologies, etc.



多様な専門分野に応用できる数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を身に付けた人材を育成することを目的に、令和4年度後期より、全学数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施しています。このプログラムは、令和5年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。

認定の有効期限：令和10年3月31日まで

情報センターの役割

アクティブラーニング室、 共通情報演習室の管理・運用

学生が自分のパソコンを持参して、個人やグループで学ぶことができます。



学内ネットワーク、 システムの管理・運用

学内のネットワークおよび各種システムの管理・運用を担当しています。



学生のための情報関連の 相談窓口

学内Wi-Fiへの接続やパソコン利用等に関する様々な相談に応じています。



PICK UP CLASS

プログラミングC



AIを利用した広告戦略の実践

むらた ともなり
村田 知也 准教授

地域の企業と連携をして、新たな顧客開拓のためのプロジェクト演習を行っています。この授業では顧客獲得のための広告を作り、公開し、その影響を評価、改善して、再度公開し、考察して発表といった演習をしました。Web広告のやり方は授業の中で、あらかじめ習った生成AIやプログラミングの技術を活用して、Webページ開発、SNS利用、動画配信などを行いました。

大学院

Graduate School

「知の活用」を学び、豊かに現代社会を生き抜く人材を育てる

日々複雑化・高度化する社会の課題を解決し、持続可能な社会を実現する鍵は、「知の活用」にあります。本学大学院には、特色のある4研究科8専攻が設置され、「知の活用」を学ぶ上で最適な学修環境を提供し、専門的知識・能力の活用を図る人材の育成と高度な学術研究を推進しています。

経済・経営学研究科

経済・経営学研究科では、学部からの進学者だけではなく、海外からの留学生、現役の社会人、退職後にあらためて深い学びを希望する方など、多様な院生が互いに刺激し合いながら研究に励んでいます。大学院での研究には、教員からの知識を受け取るだけでなく、主体的に自らの研究課題を設定し、先行研究を調べ、新たな知見を得ようとする姿勢が求められます。学術論文として研究の成果を発表するまでの道のりは決して楽なものではありませんが、本研究科には研究活動をしっかりサポートすることのできる教員が揃っています。また、教員との距離が近いという本研究科ならではの特長もあります。

地域・国際経済政策専攻 | 博士前期課程 2年

- 経済学に基礎を置き、地域公共政策、国際経済の研究を行います。
- 修士論文を書いて、修士（経済学）の学位を取得できます。

経営学専攻(ビジネススクール) | 博士前期課程 2年

- 経営学・会計学に基礎を置き、企業経営・管理の研究を行います。
- 修士論文、またはプロジェクト研究に取り組み、修士（経営学）の学位を取得できます。

経済研究専攻 | 博士後期課程 3年

- 理論と政策を一体化させた高度な学術研究を行います。
- 博士論文を書いて、博士（経済学）の学位を取得できます。

看護福祉学研究科

看護福祉学研究科は、看護学専攻と社会福祉学専攻からなり、医療・看護学から社会福祉学までの幅広い領域を対象として扱います。両専攻が共に学べる共通科目を置くとともに、それぞれの専門科目を学修できるボーダーレスなカリキュラムを組んでいます。研究において必要な高度な専門知識、方法論、論理的思考や生命倫理を指導します。また、通信情報技術（ICT）の積極的活用による遠隔での授業・研究指導にも対応します。Virtual Reality（バーチャルリアリティ）などのDXの利用や他専門分野との融合研究も推進します。将来の高度専門職・研究者・教育者を担うリーダーとなる人材を育成します。



看護学専攻 | 修士課程 2年

- 看護学専攻は看護マネジメント学、健康科学・基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、地域・在宅看護学、公衆衛生看護学の9領域を設けています。
- 看護マネジメント学領域は日本看護協会の認定看護管理者審査要件を満たしています。
- 養護教諭一種免許状を有している人は、「養護教諭専修免許状」を取得できます。
- 修士（看護学）の学位を取得できます。

社会福祉学専攻 | 修士課程 2年

- 社会福祉学専攻は、北陸で最初に開設された福祉系大学院です。
- 毎年行われる研究報告ワークショップや中間発表会で研究のブラッシュアップを図ります。
- 修了生は、福祉・保健・医療・教育・司法・労働等の多方面の分野で全国的に活躍しています。
- 修士（社会福祉学）の学位を取得できます。

健康生活科学研究科

健康生活科学研究科は、2023年（令和5年）に開設しました。福井県内では初の看護系博士後期課程です。本研究科では、保健・医療を担う看護学と福祉を担う社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に研究する「健康生活科学」という新学問領域を立ち上げ、「Well-being（健康と幸福）」に向けた共生社会を目指す研究の推進と研究者の育成を目的とします。

健康生活科学専攻 | 博士後期課程 3年

- 健康から生活までの多様な課題を包括的に探究できる自律的・国際的な研究者、基盤となる専門的知識・技術と高い見識を兼ね備え、地域にも貢献できる大学教員や行政担当者を養成します。
- 博士（健康生活科学）の学位を取得できます。

充実した支援制度

長期履修制度

博士前期課程／修士課程／博士後期課程

職業を有している等の事情により、2年（後期課程は3年）では履修が困難な場合、2年（同3年）分の授業料で3年または4年（同4年、5年または6年）かけて履修することができます。

リサーチ・アシスタント

博士後期課程

教員が行う研究プロジェクト等において、研究補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

教育訓練給付制度

経済・経営学研究科（博士前期課程）
看護福祉学研究科／健康生活科学研究科

一定の条件（雇用保険上）を満たし修了した院生に対し、授業料等の2割（上限10万円）に相当する額をハローワークから支給する教育訓練給付制度の講座に指定されています。

フィールドワーク研修旅費助成

博士前期課程／修士課程

授業の一環として、実地調査、情報収集等の研究活動を行う場合において、その研修に要する旅費を助成します。

ティーチング・アシスタント

博士前期課程／修士課程

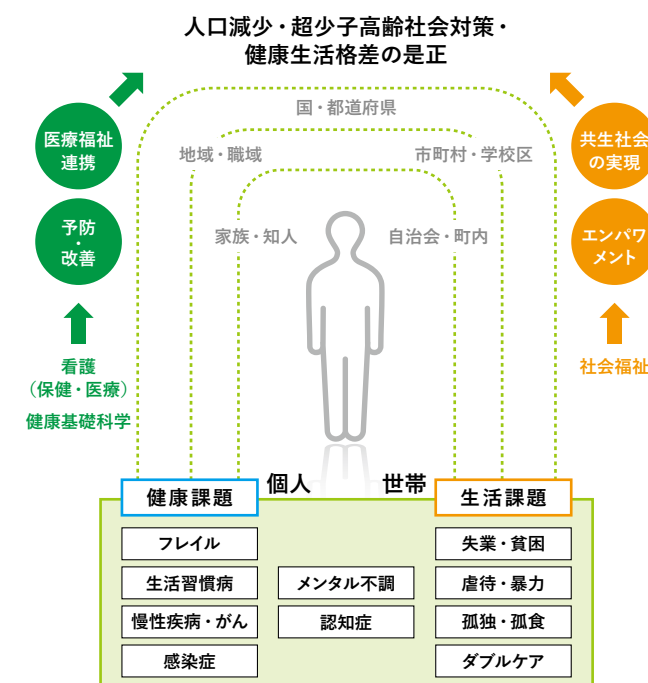
学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

学会参加旅費助成

博士後期課程

研究領域の最新情報の把握と自らの研究成果発表を行う場合において、その学会参加に要する旅費を助成します。

社会全体のWell-being（健康と幸福）の向上

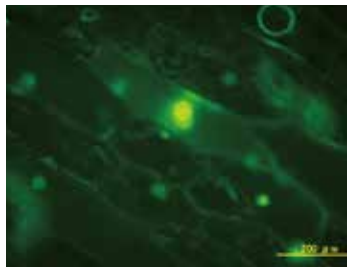


生物資源学研究科

生物資源学専攻 | 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

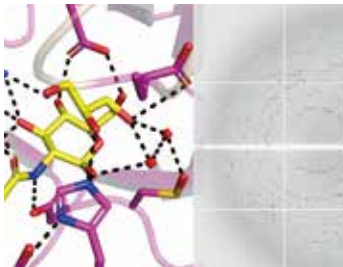
豊かな自然に囲まれた地域特性を活かし、微生物、動物、植物を含む多様な生物資源を作出・開発します。また、これらの生物資源を素材として遺伝子、酵素・タンパク質、代謝産物などの生物機能を分子レベルで解明し、これらの成果に基づく応用開発を行います。加えて、有用微生物や食品の機能性の探求だけでなく、環境との調和を考える上で重要な植物資源の保護や生態学的研究、地域農政、古生物学なども研究しています。

分子生物学



生化学、分子生物学、分子細胞生物学の手法を用いて、植物細胞の諸機能を支える遺伝子やタンパク質の働きを解明することを目指しています。具体的には、植物が保持するシグナル情報伝達系、病害抵抗性、形態形成、特化代謝産物生産、プログラム細胞死の仕組みを解明しています。更に、これらの成果を応用して新規植物資源の開発を試み、食糧分野や環境分野への貢献を目指しています。

応用生化学



生体機能の解明とその工学的応用に関する基礎研究として、タンパク質・酵素の立体構造解析および機能発現メカニズムの理解、タンパク質工学を利用した機能改変、新規分子素子の設計および高感度分析法の開発、バイオセンサーやバイオ電池の開発、生物電気化学的手法を用いた生体膜モデル系の基礎研究とその応用に関する研究などを行っています。

植物資源学



栽培植物およびそれに近縁の野生植物について、現地調査、採集材料・実験系統の遺伝分析を行うとともに、有用形質の発現機構を分子生物学的に解析し、その育種の利用を図っています。植物と環境の相互作用のメカニズムを生理学的、生態学的に究明し、気候変動に適応した植物の作出や環境保全に配慮した植生管理法の開発をしています。

創造農学



農作物の品種改良・生産・利用に関する研究、微生物の利活用や資材開発に関する研究、地域農政に関する研究を行っています。これらの研究の成果を統合し、「農の新時代」の実現を目指します。

分子機能科学



有用微生物の探索、微生物機能に関する基礎および応用研究を行い、微生物および酵素を応用した産業的有用物質の生産とその機能の開発を目指しています。各種食品成分が示す多彩な生理機能を動物個体や組織・細胞レベルで究明し、機能発現機構を解明するとともに、微生物酵素などを利用した機能性食品の創製を目指した基礎研究を行っています。

古生物学



古代の生命の記録である化石を用いて、生命進化や古環境を解明することを目指しています。特に恐竜を中心とした脊椎動物化石について、国内外の野外調査を重視しながら、CTを使った頭骨の内部構造の解析や現生脊椎動物との比較研究、恐竜時代の脊椎動物の分類学的・生態学的研究を行っています。

海洋生物資源学専攻 | 博士前期課程 2年・博士後期課程 3年

日本海・若狭湾など大学を取り巻く多様性に満ちた海域をフィールドに海洋生物資源の持続的な利用を目指して多角的な調査研究を実施します。魚介類や藻類など海洋生物の生理・生態に関する基礎的研究とともに、有用資源の増養殖に関する研究、海洋環境やその保全に関する研究を行います。加えて、海洋生物の原料科学的特性の解明、新機能性食品開発などの応用・開発研究を行います。

水圏生物生態学



水圏生物の生態、環境応答、環境適応、多様性などの解明を目指し、水圏の一次生産を担う藻類の生物多様性や適応進化、形態形成や生活環の制御機構、独立栄養や繁殖に関する生理生態、魚類を中心とする水圏動物の回遊生態や生物多様性、水圏生態系の生物生産や食物網構造ならびにその応用に関する教育・研究を行っています。

海洋生態環境学



海洋や湖沼などの水圏環境を物理学的、化学的、微生物学的に解明することを目指しています。海洋物理学や水理学を基礎とした海洋の流れや波浪に関する研究、生物地球化学や微生物の生理学や生態学的側面から物質循環過程や水質に関する研究、ならびに水圏環境の物理的・化学的・微生物学的諸過程と生物生産の相互作用に関する研究を行っています。

海洋生物資源利用学



海洋生物資源を、食料をはじめ化粧品・医薬品など生命関連素材として高度利用することを目指しています。水産物の安全性、鮮度、機能性に関する研究、魚介類コラーゲンの性状解明・有効活用に關する研究、未利用資源からの生理活性物質の探索とその応用研究など、海洋生物資源を有効利用するための研究を基礎から応用まで幅広く展開しています。

海洋生物培養学



水圏生物の増養殖技術と多様性保全の新たな展開を目指し、海洋生物学、海洋動物生理学、遺伝学、ゲノム科学、生物地球化学、水圏生態学、行動学、水産資源学、海洋動物培養学、水族病理学などを基礎として、理論的および応用的な教育・研究を行っています。

海洋情報科学・社会科学



次世代の水産養殖技術の創生を目指し、情報技術を駆使して、ゲノム科学に基づいた養殖技術や画像解析による養殖管理手法の開発を進めています。また、持続可能な水産業の確立を目指し、マーケティングやビジネスモデルの構築などをテーマに、情報科学・社会科学の立場からも教育・研究を進めています。

カリキュラム | 博士前期課程

【基礎科目】

分子生物学	植物分子生物学／応用分子細胞生物学／分子生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／分子生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
植物資源学	遺伝資源学／生物生産環境学／植物資源学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／植物資源学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
分子機能科学	微生物機能学／食品機能化学／分子機能科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／分子機能科学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
応用生化学	構造生物学／生体機能分子工学／応用生化学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／応用生化学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
創造農学	実践育種学／実践園芸学／創造農学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／創造農学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
古生物学	生物進化学／地球環境史学／古生物学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／古生物学専攻実験Ⅰ・Ⅱ

【専門科目】 天然分子機能学／生体物理化学／地域生態学／植物発生遺伝学特論／植物感染生理学／薬物作用学
植生管理学特論／英語発表技法

【研究科共通の授業科目】 分子進化学特論／生命機能有機化学特論／光合成特論／生殖生物学特論／動物遺伝子工学特論
細胞培養工学特論／食料・農業政策特論

博士後期課程

【専門科目】

分子生物学	分子生物学特別演習
植物資源学	植物資源学特別演習
分子機能科学	分子機能科学特別演習
応用生化学	応用生化学特別演習
創造農学	創造農学特別演習
古生物学	古生物学特別演習

※2024年度カリキュラム。科目は変更となる場合があります。

カリキュラム | 博士前期課程

【基礎科目】

水圏生物生態学	藻類学／水圏生態学／水圏生物生態学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／水圏生物生態学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
海洋生物培養学	海洋生物培養学／海洋生物育成学／海洋生物培養学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生物培養学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
海洋生態環境学	海洋生態工学／海洋微生物生態学／海洋生態環境学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生態環境学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
海洋生物資源利用学	生物資源利用学／食品機能化学／海洋生物資源利用学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋生物資源利用学専攻実験Ⅰ・Ⅱ
海洋情報科学・社会科学	海洋情報科学・社会科学／海洋情報科学・社会科学専攻演習Ⅰ・Ⅱ／海洋情報科学・社会科学専攻実習Ⅰ・Ⅱ

【専門科目】 専門特別講義Ⅰ～Ⅵ／水圏生物生態学特論Ⅰ・Ⅱ／海洋生物培養学特論Ⅰ・Ⅱ／海洋生態環境学特論Ⅰ・Ⅱ
海洋生物資源利用学特論Ⅰ・Ⅱ／水産政策学特論／海洋ビジネス論／水圏遺伝資源学特論

【研究科共通の授業科目】 分子進化学特論／生命機能有機化学特論／光合成特論／生殖生物学特論／動物遺伝子工学特論
細胞培養工学特論／食料・農業政策特論

博士後期課程

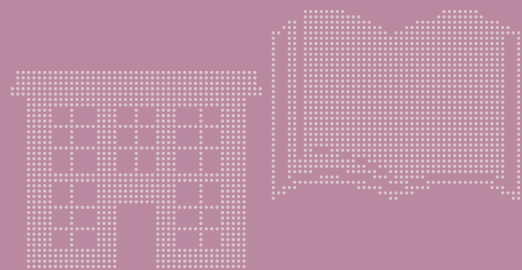
【専門科目】

水圏生物生態学	水圏生物生態学特別演習
海洋生物培養学	海洋生物培養学特別演習
海洋生態環境学	海洋生態環境学特別演習
海洋生物資源利用学	海洋生物資源利用学特別演習
海洋情報科学・社会科学	海洋情報科学・社会科学特別演習

※2024年度カリキュラム。科目は変更となる場合があります。

研究所等

University Institutes



- 地域経済研究所
- 海洋生物資源臨海研究センター
- 恐竜学研究所
- 図書館
- 生物資源開発研究センター
- 地域連携本部

地域経済研究所

地元・地方から世界・地球まで地域経済の発展に貢献する研究機関

地域を取り巻く環境は厳しさを増しています。少子高齢化は人口減少を招き、企業の後継者不在問題は、魅力的な働く場を失わせます。また、医療や介護の現場を中心に、人手不足が深刻な状況に陥るなど、多種多様な問題を地域は抱えています。地域経済研究所では、地域のリアルな実態を客観的に把握し、理論と現場のハイブリットな調査や分析を通じて、地域経済の活性化に向けた研究活動を行っています。また、経済界への情報提供や行政機関への地域課題の解決に向けた協力、県内企業のグローバルビジネス支援など、多種多様な機関と連携・協働しながら、学術系シンクタンクとしての役割を果たしています。

CLOSE UP!

北陸新幹線開業による福井県経済の変化を分析

2024年3月、北陸新幹線の金沢―敦賀間が開業しました。現在地域経済研究所では「北陸新幹線プロジェクト」を立ち上げ、地域経済や都市構造に関する統計データの分析や地図作業などを行っています。また2023年11月にハピリンホールで地域経済研究フォーラム「北陸新幹線は福井をどう変えるか？」を開催するなど、研究成果を広く地域の方々と共に共有できるイベントも開催しています。



地域経済やグローバル経済などの最新情報の発信

地域経済やグローバル経済、地域企業の経営、Well-being（幸福）、DXなど、多様なテーマを設け、対面形式やオンライン形式でのセミナー開催や、地域分析のためのデータベースをWebで公開するなど、コンテンツの充実を図っていきます。



毎月1回、グローバル経済・金融の最新情報をメルマガ発信

米国、欧州、中国、日本とブロック別の経済情勢と世界の通貨や金利、株式市場などのマーケット動向や、米国や中国、EUなど、今、注目しておきたい最新の国際金融や貿易事情などを、毎月1回提供しています。

シンクタンク機能のさらなる充実を推進します

当研究所は、現在構想中の新学部「地域政策学部（仮称）」も含め、「学部や大学院の充実状況」と研究所との関係をより強固にすることが重要だと考えています。多様で個性的な研究者の参画を得て、研究所としてのプロジェクトを戦略的に実施し、機関誌やフォーラム等を通じて成果を公表し、地域貢献の強化を図っていきます。地域経済を掲げた国内で稀有の研究所として、地域に根差した調査研究を進めていくとともに、地域経済の理論や地域比較、地域政策等の研究に積極的に取り組み、日本の地域経済研究と地域政策をリードしていく役割を強化していきます。



恐竜学研究所

古生物研究におけるアナログとデジタルの融合

福井県には日本最大の恐竜化石発掘現場があります。1989年に始まった発掘調査は、2023年まで30年以上継続的に行われ、鳥類を含めて7種の新種の恐竜類が発見されています。2023年には福井県立恐竜博物館がリニューアルされ、80万人が訪れる日本随一の自然史系博物館となっています。

そのような恐竜王国福井に、「学生が恐竜を研究できる場を」という目的のもと、恐竜の研究拠点を目指して、2013年に恐竜学研究所が設立されました。恐竜博物館との密接な連携による展示標本や発掘現場を活かした、いわゆる“アナログ”な研究を中心としながら、最新機器を使用した“デジタル”な発展的研究方法を取り入れ、質の高い研究を展開しています。

さらに、福井県にとどまらず、国内外の研究活動にも力をいれており、県外や海外での発掘調査や標本調査などを通して様々な研究機関とのネットワークを広げ、恐竜のみならず幅広い古生物の研究を進めています。近年、CTスキャン技術を利用した研究にも注力し、最新技術を活かした研究手法の確立と新たな分野の開拓を行っています。

CLOSE UP!

恐竜研究の最前線を紹介

一般教育科目「恐竜学」、「地球生命史学」などで、最新の情報や研究成果を交えながら、学生に恐竜や古生物学全般の魅力を伝えます。「古脊椎動物学実習」は、福井県でしか経験できない実習内容になっています。



ブシッタコサウルスの実物頭骨をCTスキャン後、個々の骨を分離し比較研究を行った。

海外ネットワーク

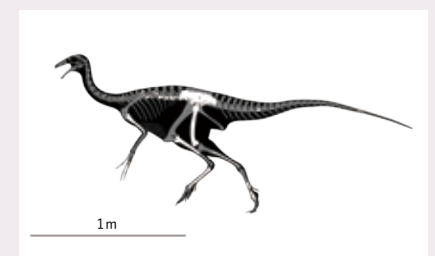
現場を重視した恐竜研究機関として、福井県立恐竜博物館や中国、タイなどの博物館・研究機関と、共同研究・交流・連携を積極的に行い、研究レベルの向上に努めています。海外で行われる学会への参加のみならず、福井県においても国際的なシンポジウムを開催していきたいと考えています。

多様な分野との交流

本研究所は、開所以来、多様な研究機関と交流を重ね、密接な連携を行っています。国内外の大学や博物館などの研究機関に加え、産業技術総合研究所発ベンチャーである地球科学可視化技術研究所とバーチャル技術を活用した研究や地域主導型の実践的なオープンイノベーションを推進しています。

新種の恐竜を発表

2023年9月、福井県で6番目となる新種恐竜（鳥類を含む恐竜類としては7番目）を発表しました。走ることに適した体型で「ダチョウ型恐竜」とも呼ばれる、オルニトミモサウルス類に属する恐竜です。従来ティラノサウルス類のみが持つと考えられていた特徴がこのグループにも見られることを示した大きな発見で、「福井県産の暴君（ティラノ）もどき」を意味する *Tyrannomimus fukuiensis*（ティラノミムス・フクイエンシス）と名付けました。オルニトミモサウルス類としては日本初の新種です。また上記の発見に関連して、このグループの起源が700年以上遡る可能性を示し、進化や分布の拡がり考察する上で重要な情報を明らかにしました。



ティラノミムスの復元図と発見部位（白）
画：G. Masukawa

生物資源開発研究センター

「農」に関わる多くの人たちと連携・交流

生物資源開発研究センターは、本県に適した農作物の新品種開発や植物保護新技術、新微生物資材、地域農政課題解決策などの研究成果(シーズ)を民間企業や地域農業者、行政などのニーズとマッチングするとともに、成果品の社会実装を担う大学発ベンチャー「県大アグリ」と連携しながら、産官学共同で地域農業振興への貢献を目指しています。

このセンターには、水田や畑地、果樹園等のほか、実験に必要な分析機器を備えており、研究や創造農学科生の実習用として活用されています。

また、創造農学科開設を契機として、「農」に関わる多くの農業経営者や企業団体、行政、大学教員による「ふくい農力アップネットワーク」を設立しました。毎年開催する情報交換会などが契機となり新プロジェクトも始動しました。今後とも地域との連携・交流をさらに進め、地域課題の解決や人材育成に取り組んでいきます。

あわら市二面88-1
TEL:0776-77-1443 FAX:0776-77-1448



図書館

学生と教員が知を深めるための情報シンクタンク

図書館では、図書・学術雑誌等を収集・整備し、学生や教員の学修、教育、研究をサポートすると共に、地域に開かれた図書館として、広く県民に閲覧・貸出サービスを提供しています。図書館は永平寺・小浜キャンパスに設置しています。

約40万冊の蔵書を備え、年間に図書3,000冊、学術雑誌450種、電子ジャーナル4,000種(SpringerLink、Business Source Premier等)を購入するほか、東洋経済DCL、SciFinder-n、Web of Science等、各種データベースを整備しています。その他、閲覧室内の一室をアクティブ・ラーニング・スペースとして開放し、グループ学習や授業を支援しています。

地域連携本部

福井県全域を教育・研究のフィールドに地域の持続可能性を支える大学を目指して

本学では、地域貢献活動を大学一丸となって進めるため、学部を越えた全学的組織として2017年に「地域連携本部」を開設。学生が地域の課題解決策を考えるフィールドワークや県内企業との共同研究・商品開発など、地域とタイアップした様々な取り組みをコーディネートしています。



金沢で開催された北陸発の産学官連携マッチングイベント「Matching HUB Hokuriku 2023」の「学生ビジネスアイデアコンテスト M-BIP」に経営学科の学生が応募し、2組が入賞しました。

大学と地域との「懸け橋」に

「相談事があってもどこに相談すれば良いのか分からない」、「研究面で協力して欲しいが、どの先生に相談すれば良いのか分からない」といった地域の方々が気軽に立ち寄り相談できるよう、地域経済研究所に相談受付オフィスを設置。相談内容に応じて適切な部署や教員等との橋渡しを行います。

教育・研究の成果を地域に還元

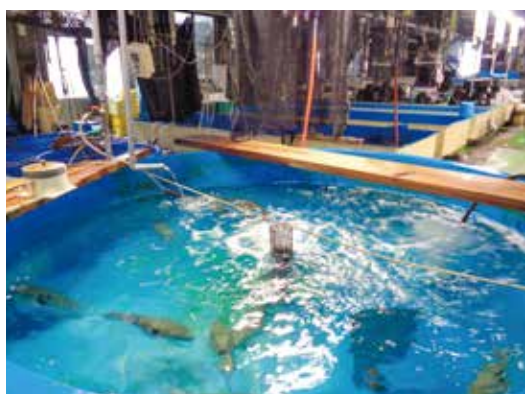
まちづくり活動への学生参加や学生と地域住民との交流イベント企画等、地域活性化に向けたきっかけづくりをはじめ、研究面では福井の気候に合わせた小麦やコメの開発、ブランド鯖の養殖など、地域に役立つ様々な取り組みを進めています。

海洋生物資源臨海研究センター

先端増養殖科学科との相乗効果

海洋生物資源臨海研究センターは、水産海洋研究に欠かせない魚介類の飼育設備と実験に必要な高度な分析機器を備えた「かつみキャンパス」の施設です。さらに、目の前に広がる小浜湾で増養殖研究や環境調査をするための調査船「セリオラII」を所有しています。これらは、海洋生物資源学部共通の施設、機器として教員・学生に利用されています。臨海研究センター1階のフロアには、5G通信の基地局が設置されており、ICT、IoTを活用したスマート養殖の先端研究が始まりました。先端増養殖科学科の研究講義棟と飼育実験が可能な新しい飼育棟が供用されました。先端増養殖科学科との相乗効果を発揮して、互いの機能を補完し合うことができ、さらなる教育の充実と研究の深化が期待されます。

小浜市堅海49-8-2
TEL:0770-52-7305 FAX:0770-52-7306



CLOSE UP!

東京大学地域未来社会連携研究機構との連携

地域連携本部は東京大学地域未来社会連携研究機構とフィールドワークを通じた学生間の交流や地域産業に関する共同研究により、地域の課題解決を進めていくことを目的に連携協定を締結しました。

令和5年度は、県立大学と東京大学の学生が坂井市をテーマに交流を行いました。坂井市役所で市職員とのディスカッション、市内でのフィールドワークや工場見学を行い、最後にワークショップを実施し、東大生が各自調査した内容に関して発表し、県大生がコメント・質問を行いました。



坂井市三国で専門家による代表的な建築様式の説明を受けている様子

国際交流 留学サポート

International Exchange / Support for Studying Abroad

グローバルな未来への挑戦をバックアップ

様々な海外研修プログラム

福井県立大学にはさまざまな海外研修・留学プログラムがあります。学びに合わせて選べますので、ぜひ挑戦してください。

短期海外研修

海外での生活を体験することで国際人としての第一歩を踏み出してもらうための研修等数日から1ヵ月程度のプログラムがあります。

長期留学

アメリカのフィンドレー大学をはじめ、海外16大学と学術交流協定に基づいた交換留学制度を設置（一部派遣のみ）。長期滞在の中で、外国語を修得しながら自分の専門分野の知識を深めていきます。

海外自主研修等

ゼミでの海外研修やフィールドワーク、国際学会への参加などがあります。また、夏休みや春休みに海外ボランティアや自主研究等に参加する学生への支援制度もあります。計画や手配も自分の力で行うことで、グローバル精神が養えます。

リラックスした空間での多文化交流

World Café 永平寺キャンパス Ocean's X 小浜キャンパス

福井県立大学では、学内に外国人インストラクターとの英会話や多文化交流を楽しめるWorld Café（ワールドカフェ）とOcean's X（オーシャンズ・エックス）を設けています。これらの交流スペースは、留学生による外国語講座や学生同士で留学・旅行の情報共有、各種イベントなどさまざまな交流ができる場として利用され、学生スタッフたちが意欲的に活動に関わっています。



支援制度

チューター制度

日本人学生チューターが外国人留学生の学業および生活をサポートします。留学生と接する中で文化や考え方の違いに触れることができ、サポートする学生自身の学びや異文化への理解にもつながっています。

国際・留学支援課がサポート

国際・留学支援課では本学独自の海外研修留学制度はもちろん、広く海外留学や奨学金などの支援制度に関する情報を提供。海外留学を志す学生や本学で学ぶ留学生に対するサポートを行います。

先輩体験談

短期海外研修

研修先／台中科技大学（台湾）中国語サマープログラム

経済学部 経営学科 とちかわ しゅうた
栃川 周大さん



独学で身につけた語学力を 現地で試してみたい

独学で勉強した自分の中国語がどのくらい通じるのか試してみたいという思いと、日本と台湾の文化の違いに興味があったことから参加を決意しました。現地ではチューターと一緒に観光したり、大学で中国語の講座を受けたりして過ごし、今でも連絡を取り合うような友人もできました。買い物時に店員の言葉が聞き取れないなどリスニングには苦労しましたが、友人たちと臭豆腐を食べてみたことや、マンゴーミルクがおいしくて何杯も飲んだことはいい思い出です。

初めての海外で不安もありましたが、台湾の文化を知ると同時に日本の良さを改めて知る機会にもなりました。高校時代に何気なく始めた中国語がこのような経験に繋がったので、人と違うことでも目標を立てて継続して頑張ってみてください。



長期留学

留学先／フィンドレー大学（アメリカ）交換留学

看護福祉学部 看護学科 ふじた あきえ
藤田 暁絵さん



チャンスは逃さず どんなことも成長の糧に

以前短期研修に参加したフィンドレー大学に、現在約10ヶ月間の長期留学中です。英語での会話はまだ難しく、少しずつ上達しているとは思いますが、リスニングや発音の大切さを痛感しているところです。休日は友人たちと過ごすことが多く、ハロウィーンにみんなでトウモロコシ畑にあるお化け屋敷に行ってお化けをしたのがとても面白かったです。

初めての経験ばかりですが、ためらいが減ってチャンスをものにしようと思うようになりました。臆せず自分の意見を話すことにも慣れてきたと思います。他国からの留学生も多く、さまざまな知識や経験を持つ人たちとの交流を通して視野も広がりました。そんな新しい出会いが留学の大きな魅力です。興味がある方はぜひ挑戦してみてください。



海外ボランティア

活動先／セブ・孤児院ボランティア（フィリピン）

看護福祉学部 看護学科 まつばら ゆめ
松原 由芽さん



フィリピンの子どもたちと ふれあった1週間

青年海外協力隊の方の講演をきっかけに、夏休みに1週間フィリピンでの孤児院ボランティアに参加しました。治安や病気などへの不安もありましたが、実際は想像よりも安全で、現地の人々は笑顔で迎え入れてくれ、たくさん話しかけてくれました。

現地ではゲストハウスで生活し、山間部、海上スラム、ゴミ山スラム、中国人墓地、マザーテレサ修道院などで子どもたちと遊ぶボランティアをしました。純粋な笑顔で日本から持っていったおもちゃで楽しそうに遊ぶ姿に、用意してよかったと思う反面、貧しい生活を目の当たりにして悲しくなることも。今回のボランティア活動を通して発展途上国での支援に対する興味がさらに深まりました。



キャリアサポート 就職支援

Career Support



キャリアセンターによるきめ細かな就職支援

就職希望の 学生のほぼ **全員が就職**

就職活動では大学での学びや経験によって培われた自分自身を分析し、強みや熱意を企業等に正しく伝えることが求められます。県大には就職活動の拠点となるキャリアセンターがあり、さまざまな支援プログラムと個別の面談を通して、学生一人ひとりに寄り添った手厚い就職支援を行っています。

就職ガイダンスの開催

年間を通じて、就職活動に必要な業界研究や自己分析の方法など、就職活動について一から学べるテーマ別のガイダンスを実施しています。また、内定を得た先輩による就職活動体験報告会では、就職活動を終えた先輩から後輩への体験談やアドバイスを聞くことができます。



就職活動オリエンテーション
インターンシップ対策
自己分析・自己PRの作成
エントリーシートの書き方
内定者就職活動体験報告会
面接に向けたマナー講座
など

図書・雑誌の閲覧

就職試験対策・面接対策に役立つ参考書や経済雑誌、公務員採用試験の問題集など就職活動に役立つ資料を豊富に取り揃えています。



求人情報閲覧システム「つぐみナビ」

学内専用の閲覧システム「つぐみナビ」では、各企業から寄せられた求人情報のほか、先輩の就活体験記を閲覧できます。



企業説明会の開催

県内外から企業を招き、学生向けの業界研究セミナーや個別企業説明会を開催しています。さまざまな業種の企業の人事担当者やOB・OGから学生が直接説明を受けられる機会を設けています。



公務員対策も充実

2023年度の就職者のうち2割以上の学生が国家公務員や地方公務員として就職しています。大手公務員対策の専門学校と連携した公務員試験対策講座を学内で受講できるほか、官公庁人事担当者やOB・OGを招いた学内官公庁説明会や内定者報告会を開催するなど、公務員として働きたい学生の皆さんを強力にバックアップしています。



個別面談

民間企業での採用実務やキャリアコンサルティングに熟達した就職アドバイザーが常駐し、学生からの相談に個別に対応し、丁寧にアドバイスしています。エントリーシートの添削や面接試験を想定した実践的な指導なども随時行っています。



インターンシップ

インターンシップとは企業などで就業体験を行う制度であり、職場に触れることで仕事への理解を深めるものです。キャリアセンターでは県内外の情報を集めて提示するほか、事前ガイダンス等の事前指導を行っています。



君の「やりたい。」を
全力でサポート！

年次別スケジュール

	1～2年次	3年次	4年次
就職活動 スケジュール		自己分析 業種・業界・企業研究 インターンシップ エントリーシート準備 会社説明会	選考開始（筆記試験・面接試験）
キャリアセンター 就職支援	キャリアガイダンス	就職ガイダンス 業界研究セミナー、業種・業界説明会 （随時）個別相談、エントリーシート、個別面接対策	

キャリアインタビュー



就活を通して学んだ
周囲を頼ることの大切さ

公務員専願だったので、周りが先に就活を終えてもひたすら勉強に励みました。試験の約一年前から学内講座を受け、4ヶ月前からは本格的に一日6～8時間勉強。辛い時期でしたが、同じ境遇の友人の励ましもあって乗り越えました。一次試験後の最初の面接では練習不足でミスもありましたが、キャリアセンターではなぜその職を志望するのかという自分の就活の軸をしっかり持てるよう親身にサポートしてくれ、その後はどんな問いにも自信を持って答えられるようになりました。結果無事に合格。卒業後は福井労働局で求職者支援を行い、地域に貢献していきたいと思います。

環境の整った個別ブースで
web面接も安心

経営学科で学んだ金融論や簿記などの知識を活かしながら地元福井の地域活性化にも貢献できる銀行を志望し、無事内定をもらいました。大学生活で身に付けた傾聴力を活かし、親しみやすい行員を目指します。キャリアセンターを初めて利用したのは模擬集団面接。外部の面接専門講師に面接の基本マナーを教わりました。その後もESの添削や面接の個別指導で何度もお世話になり、改善を重ねてどんどん内容が良くなっていくのを実感できました。web環境の整った個別ブースを借りられるので、web面接本番も安心して受けることができ、自信を持って臨めたと思います。



分からないことに悩むより
まずは頼れるプロに相談！

就活について何からすれば良いのか分からない状態で相談に行きましたが、一から丁寧に教えてくださいました。ES提出や面接の時期が思っていたより早く、そのスピード感に戸惑いながらも、自己分析や面接練習、グループディスカッションのワークなど所要所でサポートいただき、無事に食品メーカーから内定をもらうことができました。研究開発職として新商品の開発や技術開発に携わる予定です。大学と院で身に付けた知識や、実験・研究の中で根気強く試行錯誤した経験などを活かして、自分のペースで着実に仕事に取り組んでいきたいです。

ピンチの時に役立つ
経験に基づいた生きた情報

動き出しの早さが就活の成否を分けると実感しました。情報収集開始が遅れて志望企業のインターンを逃してしまい、もっと早くキャリアセンターを利用すれば良かったと反省もありましたが、インターネットで簡単に得られる情報とは違う、先輩方の経験に基づいた実践的で有益なアドバイスがとても参考になりました。卒業後は大学で学んだことを活かせる水産食品会社へ。養殖技術の開発に携わりたいと思っています。水産に関する知識はもちろん、趣味の釣りで得た魚の生態に関する知識も武器に、向上心を持って新たな知識を吸収しながら人々の笑顔を作っていきたいです。



先輩方の体験談に共感！
一人じゃないから頑張れる

食の安全性確保や先進性の高い農業の普及指導など、幅広い業務に携われる公務員の仕事に興味を抱き、県職員を目指すことに。公務員試験は4年次春のため、友人たちとの就活状況の違いに焦りを感じて苦しい時期もありましたが、定期的にキャリアセンターから届くメールの先輩方の体験談やアドバイスに励まされました。キャリアセンターの方が月に数回あわらキャンパスにも来てくださり、面接練習や悩み相談にも乗っていただきました。的確なアドバイスによって、自分はどんな公務員になりたいのか明確な目標を持てたことが、夢の実現につながったと思います。

自分の性格を見極め
徹底的に苦手分野を強化

県内唯一の特定機能病院である福井大学医学部附属病院に就職が決まりました。講義や実技、実習を通して身に付けた基本的な看護の知識や経験、介護施設でのアルバイトで得た学びを大切にしながら、より一層看護師としてのスキルを高めていきたいと思います。面接練習では、予想外の質問に柔軟に対応できるようあえて変わった質問をしてもらい、対処が必要な部分に気づかせてもらいました。緊張しやすい性格なのですが、何度も繰り返し練習することで、本番はあまり緊張せずに臨めたと思います。精神面をしっかりフォローしていただきました。



実践で役に立つ
具体的なグループワーク対策

人とのつながりが希薄化している時代に、福祉に関する知識や理解を広めることで、地域で支え合っていけるようなまちづくりをしたいと思い、地元の福井県社会福祉協議会を志望しました。実習やゼミで学んだことを活かしながら、持ち前の明るい性格で笑顔を絶やさず、地域に寄り添った支援ができるよう頑張りたいです。福祉関係は募集要項が出るのが他の職種より比較的遅く、自分から動く必要があります。募集の探し方は先輩の体験談が参考になりました。グループワークの具体的な対策も教えていただき、自信を持って挑めました。内定をもらった時の嬉しさは忘れられません。

キャリアセンター利用学生の声

VOICE

キャリアセンターを利用して就職した先輩の声ををご紹介します

エントリーシートの添削や志望動機について相談できました。



自己分析で自分の人生のすべてを話し、深掘りしてもらいました。



悩みを相談してアドバイスを頂けてリラックスできました。



面接対策にキャリアセンターを活用しました。



就活相談を受けたことで自分の足りないところを理解できました。就活の知識も広がりました。



就職活動で何をすればよいかわからなかったり困ったときには、キャリアセンターを利用するといいです。



クラブ & サークル紹介

CLUB & CIRCLES

かけがえない仲間と
出会える魅力的な
クラブ・サークルがたくさん！



永平寺キャンパス | EIHEIJI

体育会系

- ☐ fpu太極拳サークル
- ☐ アメリカンフットボール部
- ☐ カバディサークル
- ☐ 弓道部
- ☐ 県大バドミントン部
- ☐ 剣道部
- ☐ サッカー部
- ☐ 女子アイスホッケー部
- ☐ 女子バスケットボール部
- ☐ 女子バレーボール部
- ☐ 水泳サークル
- ☐ スノースポーツ部
- ☐ ソフトテニス部
- ☐ ソフトバレーサークル8-feet
- ☐ 男子アイスホッケー部
- ☐ 男子ソフトボール部

- ☐ 男子バスケットボール部
- ☐ 男子バレーボール部
- ☐ 男子フットサル部
- ☐ 男女硬式テニス部
- ☐ ダンス部 JEEZ
- ☐ バラグライダー部
- ☐ ハンドボール部
- ☐ 福井県立大学カヌー部
- ☐ 陸上競技部

文化系

- ☐ BBSサークル
- ☐ kotoiroサークル
- ☐ Open the Sesame
- ☐ S.I.U
- ☐ アウトドアサークル
- ☐ アカベラ部 Tran -Baccano

- ☐ アコースティックギターサークル部
- ☐ アフリカのゆかいな仲間たち
- ☐ 裏千家茶道部
- ☐ エシカルサークル
- ☐ 演劇部「劇団くらげ」
- ☐ オカルトサークル
- ☐ キッズボランティアサークル「れいんぼー」
- ☐ 競技かるたサークル
- ☐ 教職サークル
- ☐ 恐竜サークル「DiNo」
- ☐ 軽音楽部
- ☐ コミットサミット
- ☐ 写真部
- ☐ 書道サークル

- ☐ チャレンジサポートサークル
- ☐ つぐみラボ
- ☐ 日本遊戯振興会
- ☐ 農業サークル
- ☐ 福井県立大学管弦楽
- ☐ 福井県立大学ジャズ研究会サークル
- ☐ 福井県立大学よっしゃこい
- ☐ 文芸部
- ☐ ボードゲームサークル
- ☐ モルックサークル
- ☐ YOLOサークル
- ☐ 旅行研究サークル

体育会系

- ☐ 小浜キャンパスアイスホッケー部
- ☐ 小浜キャンパスアメリカンフットボール部
- ☐ 小浜パラグライダー部
- ☐ 弓道サークル小浜支部
- ☐ シーカヤックサークル
- ☐ ダンス部 JEEZ小浜支部
- ☐ バレーボール部
- ☐ ライフセービング部
- ☐ レジャースポーツサークル

文化系

- ☐ アカベラサークル
- ☐ 油絵サークル
- ☐ 軽音楽部
- ☐ ピーチクリーンサークル
- ☐ 美食サークル
- ☐ 遊狩漁部



ライフセービング部



アカベラ部



アメリカンフットボール部



コミットサミット



ソフトテニス部



パラグライダー部



ハンドボール部



アコースティックギター部



ピーチクリーンサークル



福井県立大学よっしゃこい



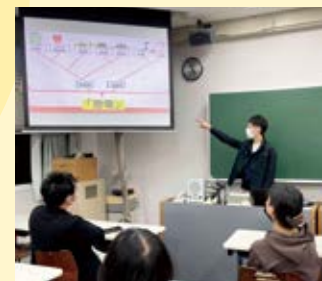
福井県立大学管弦楽



弓道サークル小浜支部



競技かるたサークル



恐竜サークル「DiNo」



剣道部



女子バレーボール部



小浜キャンパスアイスホッケー部



水泳サークル



男子ソフトボール部



男子バレーボール部



男女硬式テニス部



油絵サークル



裏千家茶道部



エシカルサークル

永平寺キャンパス | EIHEIJI

学友会

学友会では年間を通して、学校祭実行委員会として10月に行われる白樺祭の準備に取り組んでいます。また、自分達がやりたいイベントや学校を盛り上げるためのイベントをゼロから企画することができ、学校の講義だけでは学ぶことができない多くの事を学ぶことができます。イベントの企画、運営をやってみたい方、大学では様々な事を経験して成長したい方など、一緒に学校を盛り上げてくださる方お待ちしております!!



小浜キャンパス | OBAMA

海友会

主に学祭「白樺祭」の実行・運営を行っています。その他小浜キャンパスに新しく来る2年生の歓迎会等、キャンパス内でのイベントを企画します。海友会メンバーは人数が少ないですが、互いに協力し合い、様々な役割を担うことができ、貴重な経験と思いが得られます。そこで得られる経験は将来にもつながる大きな力になります!



永平寺 キャンパス

EIHEIJI CAMPUS

禅の里 永平寺町に位置する
広大で緑豊かな学術研究フィールド

経済学部 経済学科／経営学科
生物資源学部 生物資源学科
看護福祉学部 看護学科／社会福祉学科

永平寺キャンパス



③ フォーラム（広場）

永平寺キャンパスの中央に位置する広場です。



④ World Café

お茶を飲みながら気軽にスタッフと英会話を楽しめます！



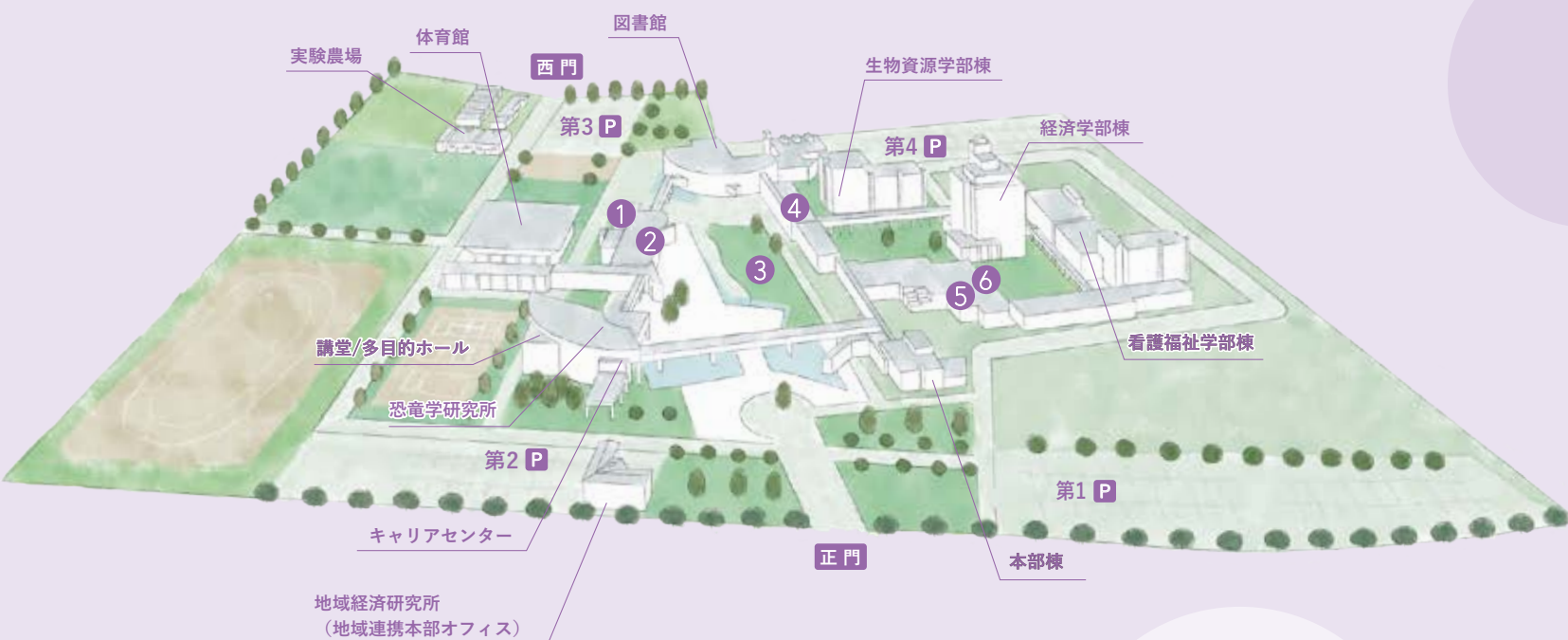
⑤ アトリウム

空き時間に友達と集まり会話を楽しむなど、学生が自由に使える空間です。



⑥ 共通講義棟内 大講義室

永平寺キャンパスで一番大きな講義室です。
およそ300人が一度に講義を受けられます。



① 県大レストラン

豊富なメニューとリーズナブルな価格帯が人気の県大レストラン。学生だけでなく一般の方も利用可能です。巨大な恐竜にも出会えます。



② 学生会館

昼食時や休憩時、自習時など自由に利用できます。学生有志がインテリアを考えた「学生チャレンジスペース」では、自由にくつろいだり、イベント企画や起業体験など様々なチャレンジができます。

学生生活 インタビュー

とみだ
富田 ことはさん

経済学部 経営学科
愛知県立高蔵寺高等学校出身



Q 今、頑張っていることは？

英語の勉強です。今年の夏休みに語学留学に行き、その国の文化を学びました。語学留学の経験を通して、もっと色々な文化や考え方を知りたいという気持ちになりました。

Q 県大を目指す高校生にひとこと

県大では、色々な経験をして充実した楽しい大学生活を送ることができます。全力で高校生活を楽しみながら、受験勉強頑張ってください！！

Q 県大での一番の思い出は？

今年行った「Departure」です。冬の文化祭のような行事で、文化部の発表があります。学友会で考えた謎解きゲームは、想像よりも学生たちが盛り上がってくれて達成感を味わいました。



学友会の打ち上げにて

【一日の流れ】

7:30	9:00	12:00	18:00	22:00	23:30
起床	講義	昼食	バイト	帰宅、入浴	就寝

あわら キャンパス

AWARA CAMPUS

あわらの自然豊かな里地里山の
フィールドがそのまま学び場に

生物資源学部 創造農学科



① 管理・研究棟

学生カウンターのほか、創造農学科教員の研究室や実験室があります。卒業論文研究が中心となる4年次以降は、この建物で過ごす時間が多くなります。



② 教育棟

県産材を使用した木造1階建ての建物で、創造農学科生の学びの拠点です。講義室、実験室、調理室、医務室、学生スペースが整備され、自分たちで育てた農作物を使った実験や調理実習を行います。



③ 畑

キャベツやすいか等多様な作物を栽培しているほか、創造農学科生は自分専用の畑「My Farm」を持ち、土壌分析を行い、肥料や堆肥の量を考え、学生自身で作物を育てます。



④ 実習棟

実習で収穫した農作物等について調べる調査室を整備。個室の更衣室兼シャワー室もあります。



⑤ 果樹園

福井県特産の「梅」「越前柿」のほか、新規品目として「さくらんぼ」や「アケビ」の栽培試験を進めています。



⑥ 水田

創造農学科三浦教授が開発した米の新品種「ピカツンタ」「ふくむすめ」「山田錦FW1号」の栽培や新たな品種の育成に取り組んでいます。

学生生活 インタビュー

さかい ともや
坂井 智哉さん

生物資源学部 創造農学科
福井県立福井農林高等学校出身



Q

大学生生活をひとことで表すと？

「幸せ」です。学校生活で多くの友達ができ、授業で多くの分野の知識を得ることができました。友人と遊ぶことも、知らなかったことを知り知見が広がるのも幸せだと感じています。

Q

県大を目指す高校生にひとこと

迷っているなら県大！私立や県外の大学より学費が安く、授業では福井県の魅力を知ることができます。部活動やサークル活動も充実していて毎日が楽しいです。毎日行きたいと思える大学です。

Q

県大に入って良かったことは？

フィールドワークです。創造農学科では、福井県内の様々な場所で授業を行うため、実際に現場を見てより深くその農家の方のことを知ることができます。農に関する視野が広がったことが良かったです。



授業内で友人と訪れた芦湯

【一日の流れ】

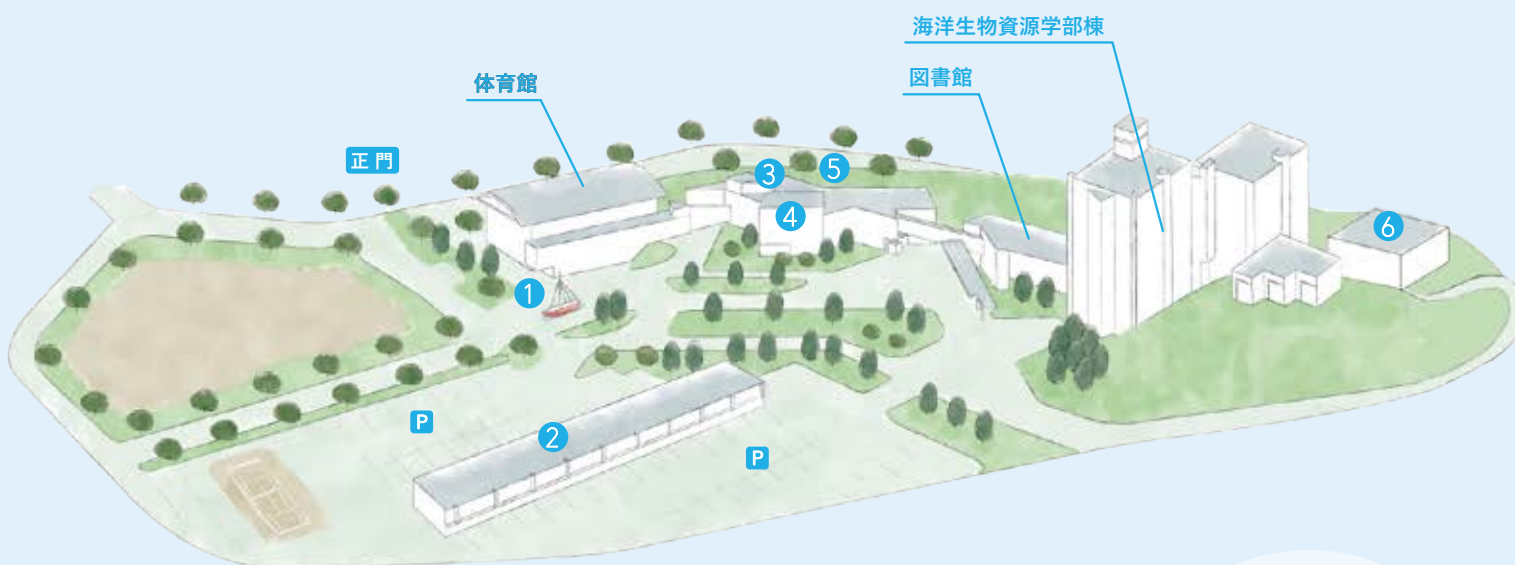
7:00	9:00	12:10	18:00	22:30	24:00
起床	講義	昼食	帰宅	入浴	就寝

小 浜 キャンパス

OBAMA CAMPUS

雄大な日本海を目前に望む
開放感あふれるキャンパス

海洋生物資源学部
海洋生物資源学科／先端増養殖科学科



① シンボルヨット「望(HOPE)」

海洋生物資源学部のシンボル。海を望む高台で将来を築いてほしいという願いが込められています。



② 海洋環境工学実験棟

海洋で起きる波や潮流、潮汐等の自然現象を再現するための装置を取り付けた水槽が4種類あり、先進的な設備・機器が備わっています。



③ 県大レストラン&キッチンBOO

海が見渡せ学生たちで賑わう県大レストラン。併設のキッチンBOOでは地産地消にこだわったバイキングが楽しめ、県大生は割引価格で食べられます。



④ 多目的ホール

大学イベントのほか授業や公開講座で使用する、小浜キャンパスで最も広いホールです。



⑤ 海が見える広場

小浜の街と海を見下ろせる開放感あふれる広場。4月には藤棚が満開になります。



⑥ 講義棟

県産スギや若狭和紙、若狭塗などの県産品をふんだんに使用した講義棟です。テラスからは小浜湾を一望できます。

学生生活 インタビュー

いわさき
岩崎 あずさん

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科
京都府立鴨沂高等学校出身



Q 大学生生活をひとことで表すと？

「自由」。自分の時間がたくさんあるので、勉強も研究も趣味も遊びも、好きなことを自由にできます。時間の使い方は自分次第なので、緩急をつけて、学業と趣味両方を楽しんでいます。

Q 県大を目指す高校生にひとこと

県大ではのびのびとした大学生活を送ることができます。大学生活は勉強や研究以外にも仲間を増やす機会が多くあり、思い出を作りあげたり、新しいことにも挑戦できたり、多様な成長ができる環境です。

Q 県大に入って良かったことは？

先生と学生の距離が近いことです。海洋生物資源学科は学生が少人数なので、先生に対する学生の数が少ないことが特徴だと思います。質問や相談にも親身になって対応していただけます。



友人との大学祭での活動

【一日の流れ】

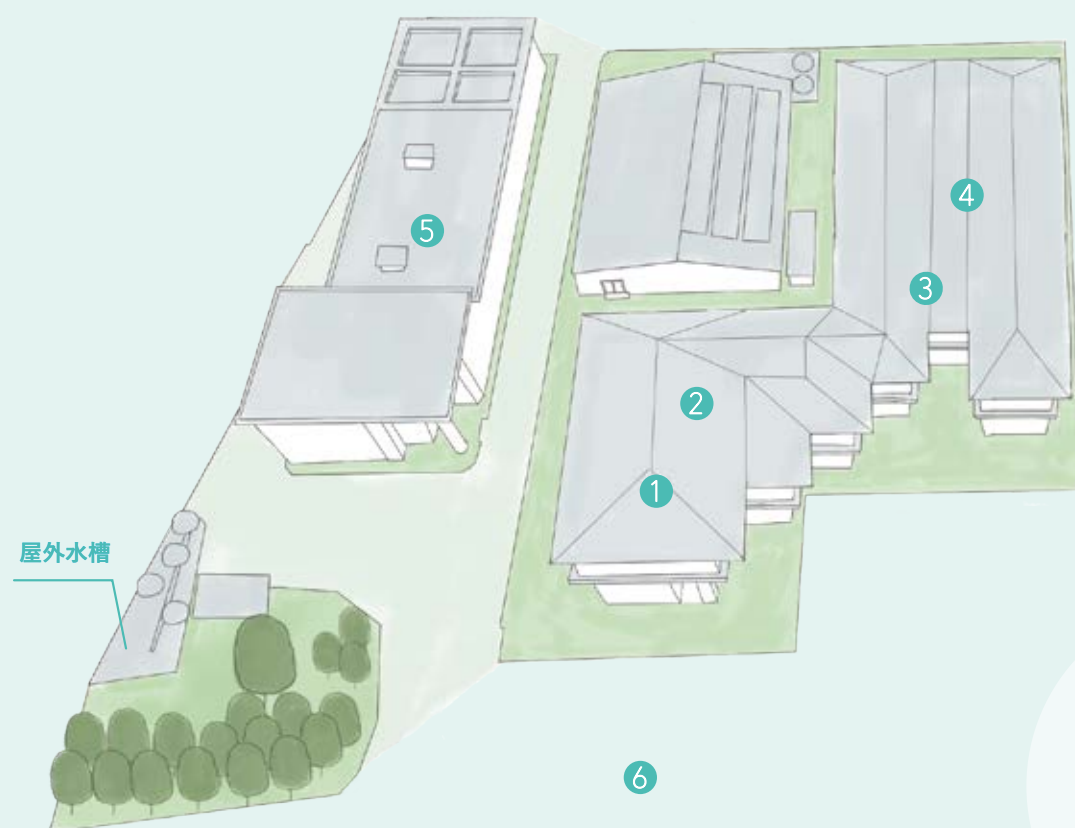
6:30	9:00	12:00	17:30	20:00	21:00	23:00
起床	講義	昼食	帰宅	入浴	自由時間	就寝

かつみ キャンパス

KATSUMI CAMPUS

先端増養殖科学の教育・研究拠点

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科



① 研究講義棟

採光や通風、眺望が良くなるよう工夫されています。



② 研究講義棟内 サロンきたまえ

学生同士や地域の方との交流の場として利用できます。



③ 研究講義棟内 講義室

教室間のパーテーションをはずすと、大きな一つの教室として利用できます。



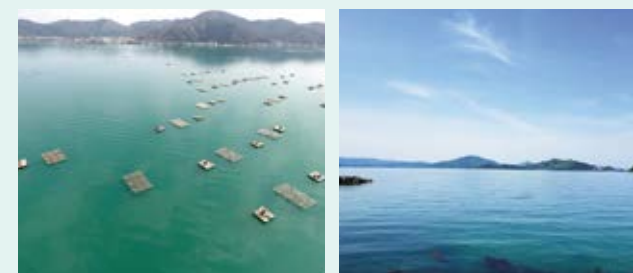
⑤ 臨海研究センター

魚介類の飼育設備と、高度な分析機器を備えた施設で、増養殖研究や環境調査をするための調査船を所有しています。



④ 飼育棟

養殖魚を育成する大型水槽を備えた飼育実験室、魚を飼育管理できる小型魚類飼育室を設置。最先端の研究や実験が行えます。



⑥ 若狭湾

キャンパスの目の前に広がる若狭湾では、海面魚類養殖や無給餌養殖が盛んに行われています。

学生生活 インタビュー

たなか けいた
田中 恵太さん

海洋生物資源学部 先端増養殖科学科
大阪府立交野高等学校出身



Q 県大での一番の思い出は？

雪が降ったことです。大阪出身なのでこれまでの人生の中で、雪が積もったのは初めてのことでした。雪が降る中、学校に行き授業を受けたことは、とても印象に残っています。

Q 大学生生活をひとことで表すと？

自分次第で様々なことに挑戦でき、楽しめます。部活・サークルも多く、研究も1年時や2年時から興味があれば学べるので、自分次第で選択肢や可能性は増えます。

Q 県大に入って良かったことは？

先端増養殖科学科は、1学科30人という少人数教育をしているので、学生と先生との距離が近く、話しやすい環境になっています。気軽に質問・相談に行うことができます。



かつみキャンパスから見た夕暮れ

【一日の流れ】

7:30	9:00	12:00	18:00	18:30	21:00	22:30	24:00
起床	講義	昼食	講義終了	アルバイト	帰宅	入浴	就寝

学生生活サポート

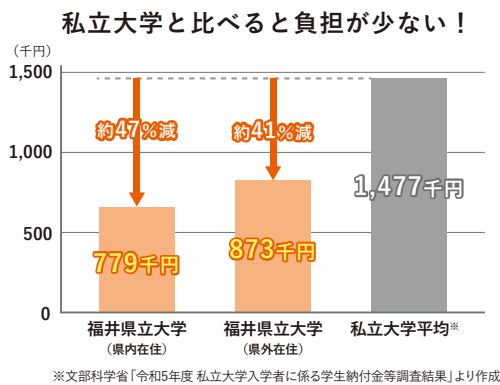
Student Support

修学に必要な費用等

入 学 料 ・ 授 業 料 等（令和6年4月現在）

	福井県内に在住の方	福井県外に在住の方
入 学 料	188,000円	282,000円
授業料(年額)	535,800円	
その他(学生保険等)	約55,000円※	
合 計	778,800円	872,800円

※令和5年度の実績であり、金額が変更される場合があります。



奨 学 金

日本学生支援機構の奨学金

● 貸与奨学金

区分	貸与月額
第一種(無利子)	自宅通学者 20,000円、30,000円、45,000円から学生が選択した額
	自宅外通学者 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から学生が選択した額
第二種(有利子)	月額20,000円～120,000円の間で、1万円単位で学生が選択した額

● 給付奨学金

(修学支援新制度)
※カッコ内は生活保護世帯等の金額

区 分	給付月額			
	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分
自宅通学者	29,200円(33,300円)	19,500円(22,200円)	9,800円(11,100円)	7,300円(8,400円)
自宅外通学者	66,700円	44,500円	22,300円	16,700円

その他の奨学金

地方公共団体、公益法人、民間企業等が行う奨学金制度があります。
募集がある場合に大学ホームページに掲載します。

入 学 料 ・ 授 業 料 減 免 制 度

日本学生支援機構の「修学支援新制度」

修学支援新制度の対象となっている者は、給付奨学金および入学料、授業料の減免を受けることができます。

福井県独自の「多子世帯の県内大学等授業料減免制度」

修学支援新制度の対象となっている者かつ福井県内の進学者に対し、福井県独自の上乘せ支援を行います。

福井県立大学独自の授業料減免および納付期限延長の制度

大学院生、留学生を対象とした授業料減免および納付期限延長の制度があります。

各制度の詳細は、対象機関のホームページ等でご確認ください。

充実した相談体制

教員による学生相談

大学での学びや生活、健康、進路など、様々な悩みや不安に対して、各学部・学年ごとに配置された学生相談担当教員が相談に応じます。

修学、生活などの相談

「授業に出席できない」「大学になじめない」「自信が持てない」など、学生生活の悩み事に、専門知識や援助技術を持つキャンパスソーシャルワーカーが相談に応じます。

身体や心の悩み相談

健康診断や健康相談、メンタルヘルス相談、カウンセリングなどに、看護やカウンセリングの専門スタッフ(学校医、保健職員、カウンセラー)が応じます。

福井を学ぶ、もう一つのキャンパス



大学連携センター F スクエア

Fスクエアは、福井県内の全ての大学、短期大学、高等専門学校が集って学べる、JR福井駅東口のビル「AOSSA(アオッサ)」の7階にあるサテライトキャンパスです。福井の魅力や県内企業の特徴を学ぶ講義を受講できます。

- ・卒業に必要な単位として認められます。
- ・土日にまとめて開講し、短期間で修了する科目もあります。
- ・無料カフェや共有スペースなど自由に使用できる空間があります。



ふくい地域創生士を目指そう！

「ふくい地域創生士」とは、地域を学び、自分を知ることにより「地域に貢献できる人材」と認定される制度です。各大学が指定した12単位以上を取得し、インターンシップ等に参加し、既定の成績に達している学生は申請が可能です。

もっと知りたい！県大のこと

公式WEBサイト

各学部・研究科の情報や学生へのお知らせ、入試情報、オープンキャンパス情報など、大学の最新情報を発信しています！

<https://www.fpu.ac.jp/>



公式SNS

県大の最新ニュースやイベント情報等をお届けしています。ぜひフォローお願いします！

X
@FukuiPref_Univ



Instagram
@fukupref_univ



Facebook
@FukuiPref.Univ



広報誌「FPU NEWS」

在学生の活躍、卒業生紹介、県大ニュースなど県大の情報が満載の広報紙です！



公式YouTube

県大の学科・研究室の紹介動画を多数掲載しています！

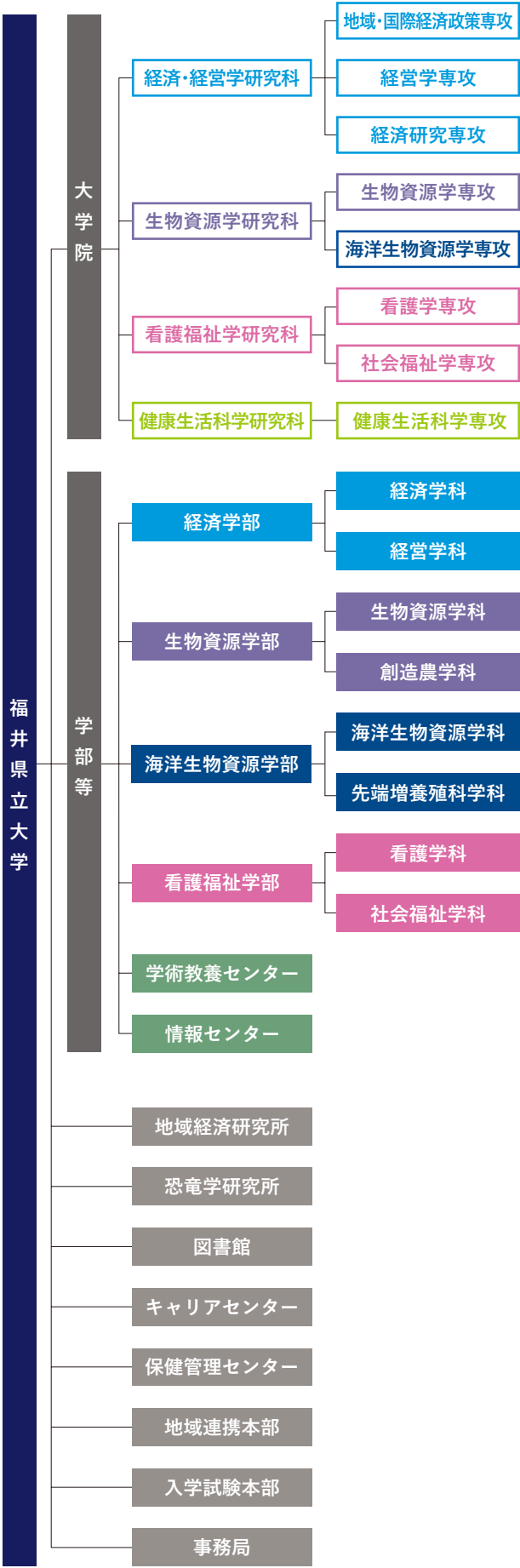


福井県立大学
(Fukui Prefectural University)

沿革

1920	福井県農業試験場内に福井県農業技術員養成課程を設置
1966	福井県農業短期大学校に改称
1975	福井県立短期大学(農学科、経営学科、看護学科)を開学
1982	第二看護学科を開設
1984	専攻科地域看護学専攻を開設
1992	開学〔福井キャンパス(経済学部・生物資源学部)〕 初代学長に坂本慶一が就任
1993	小浜キャンパス(海洋生物資源学科)、 生物資源開発研究センターを開設 看護短期大学部を併設
1994	看護短期大学部を福井キャンパスに移転
1996	大学院修士課程を開設
1998	大学院博士課程を開設 第2代学長に常脇恒一郎が就任
1999	看護福祉学部を開設
2001	看護短期大学部を閉学 地域経済研究所を開設
2002	学術教養センターを設置
2003	海洋生物資源臨海研究センターを開設 大学院看護福祉学研究科を開設
2004	第3代学長に祖田修が就任
2006	大学院にビジネススクールを設置
2007	公立大学法人に組織変更
2009	海洋生物資源学部を開設(小浜キャンパス)
2010	第4代学長に下谷政弘が就任 キャリアセンターを開設
2012	地域経済研究所にアジア経済部門を設置
2013	恐竜学研究所を開設
2016	第5代学長に進士五十八が就任 福井県立大学オープン・ユニバーシティ構想を発表 福井キャンパスの名称を永平寺キャンパスへ変更
2017	地域連携本部を開設
2018	大学院生物資源学研究科生物資源学専攻に 古生物学専門種目を開設 大学院看護福祉学研究科看護学専攻に 看護マネジメント学領域を開設
2020	あわらキャンパス開設 生物資源学部創造農学科を開設
2022	かつみキャンパス開設 海洋生物資源学部先端増養殖科学科を開設 第6代学長に岩崎行玄が就任
2023	大学院健康生活科学研究科を開設 情報センターを開設

組織図 (令和6年度)



入試DATA

▷ 志願者・合格者・倍率 (令和6年度)

学 部	学 科	一般選抜・前期日程					一般選抜・後期日程					一般選抜 計 (A)				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率
経 済 学 部	経 済 学 科	40	208	190	73	2.6	35	386	111	47	2.4	75	594	301	120	2.5
	経 営 学 科	40	125	120	67	1.8	35	214	68	47	1.4	75	339	188	114	1.6
	計	80	333	310	140	2.2	70	600	179	94	1.9	150	933	489	234	2.1
生物資源学部	生物資源学科	14	68	61	22	2.8	17	134	44	18	2.4	31	202	105	40	2.6
	創造農学科	11	25	23	12	1.9	2	46	17	4	4.3	13	71	40	16	2.5
	計	25	93	84	34	2.5	19	180	61	22	2.8	44	273	145	56	2.6
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	25	123	113	32	3.5	10	190	74	21	3.5	35	313	187	53	3.5
	先端増養殖科学科	10	34	31	14	2.2	6	33	8	6	1.3	16	67	39	20	2.0
	計	35	157	144	46	3.1	16	223	82	27	3.0	51	380	226	73	3.1
看護福祉学部	看 護 学 科	20	60	56	23	2.4	10	90	42	11	3.8	30	150	98	34	2.9
	社会福祉学科	15	47	46	21	2.2	7	48	14	9	1.6	22	95	60	30	2.0
	計	35	107	102	44	2.3	17	138	56	20	2.8	52	245	158	64	2.5
総 計		175	690	640	264	2.4	122	1,141	378	163	2.3	297	1,831	1,018	427	2.4

学 部	学 科	学校推薦型選抜 (B)					総合型選抜 (C)					特別選抜 (D)					総計 (A + B + C + D)			
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍 率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経 済 学 部	経 済 学 科	25	36	36	29	1.2	—	—	—	—	—	若干名	5	5	2	2.5	100	635	342	151
	経 営 学 科	25	43	43	28	1.5	—	—	—	—	—	若干名	9	9	6	1.5	100	391	240	148
	計	50	79	79	57	1.4	—	—	—	—	—	若干名	14	14	8	1.8	200	1,026	582	299
生物資源学部	生物資源学科	11	13	13	13	1.0	3	3	3	2	1.5	若干名	2	2	2	1.0	45	220	123	57
	創造農学科	7	11	11	7	1.6	5	19	19	9	2.1	若干名	0	0	0	—	25	101	70	32
	計	18	24	24	20	1.2	8	22	22	11	2.0	若干名	2	2	2	1.0	70	321	193	89
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	10	14	14	10	1.4	5	33	33	7	4.7	若干名	2	2	0	—	50	362	236	70
	先端増養殖科学科	8	16	16	8	2.0	6	17	17	6	2.8	若干名	1	1	1	1.0	30	101	73	35
	計	18	30	30	18	1.7	11	50	50	13	3.8	若干名	3	3	1	3.0	80	463	309	105
看護福祉学部	看 護 学 科	20	33	33	20	1.7	—	—	—	—	—	若干名	1	1	1	1.0	50	184	132	55
	社会福祉学科	8	11	11	9	1.2	—	—	—	—	—	若干名	2	2	2	1.0	30	108	73	41
	計	28	44	44	29	1.5	—	—	—	—	—	若干名	3	3	3	1.0	80	292	205	96
総 計		114	177	177	124	1.4	19	72	72	24	3.0	若干名	22	22	14	1.6	430	2,102	1,289	589

▷ 合格者の最高・最低・平均点 (令和6年度) 一般選抜

学 部	学 科	前期日程			後期日程		
		最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点
経 済 学 部	経 済 学 科	401.7	314.8	332.2	467.8	362.1	389.8
	経 営 学 科	387.6	307.2	327.2	451.2	343.4	374.0
生物資源学部	生物資源学科	—	—	—	374.7	315.8	335.7
	〈試験A〉	291.3	239.4	255.0	—	—	—
	〈試験B〉	305.8	261.9	279.0	—	—	—
海洋生物資源学部	創造農学科	465.4	320.8	367.8	395.3	377.9	385.7
	海洋生物資源学科	292.4	241.4	265.9	429.7	360.3	393.8
	先端増養殖科学科	297.1	243.5	265.3	399.5	203.2	310.9
看護福祉学部	看 護 学 科	359.0	291.7	316.5	419.5	332.7	371.4
	社会福祉学科	297.3	256.2	276.5	336.0	293.3	310.1

■学部(学科)により満点が異なります。
※前期日程：経済学部、看護福祉学部看護学科500点満点。生物資源学部創造農学科600点満点。
他の学部(学科)400点満点。
※後期日程：生物資源学部生物資源学科、看護福祉学部社会福祉学科500点満点。
他の学科600点満点。

▷ 入試日程 (令和7年度入学者選抜)

区 分		出 願 期 間	試 験 日
一般選抜	前 期 日 程	R7.1.27(月)～ R7.2.5(水)	R7.2.25(火)
	後 期 日 程		R7.3.12(水)
学校推薦型選抜		R6.11.1(金)～ R6.11.11(月)	R6.11.23(土・祝)
総合型選抜		R6.10.1(火)～ R6.10.8(火)	R6.11.24(日)
特別選抜	帰国生徒	R6.11.1(金)～ R6.11.11(月)	R6.11.23(土・祝)～ R6.11.25(月) ※いずれかの日程で 実施予定
	中国引揚者等生徒		
	社会人		
	私費外国人留学生		

※日程は令和6年5月現在の予定です。
変更される場合がありますので、本学HPでご確認ください。

▷ 入試に関するお問合せ

福井県立大学 入学試験本部 (入試企画室)

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

☎0776-61-6000

☎0776-61-6012

✉nyusi@fpu.ac.jp



大学DATA

▶ 学部学生数（令和6年5月1日現在）

学部・学科	1年	2年	3年	4年	計
経済学科	118 (47)	106 (47)	116 (44)	118 (46)	458(184)
経営学科	116 (63)	115 (57)	111 (52)	116 (63)	458(235)
経済学部計	234(110)	221(104)	227 (96)	234 (109)	916(419)
生物資源学科	52 (30)	49 (30)	44 (20)	47 (21)	192(101)
創造農学科	31 (17)	26 (12)	30 (22)	34 (18)	121 (69)
生物資源学部計	83 (47)	75 (42)	74 (42)	81 (39)	313(170)
海洋生物資源学科	57 (15)	52 (16)	53 (18)	53 (10)	215 (59)
先端増養殖科学科	31 (8)	31 (6)	29 (4)		91 (18)
海洋生物資源学部計	88 (23)	83 (22)	82 (22)	53 (10)	306 (77)
看護学科	55 (49)	55 (50)	54 (49)	56 (52)	220(200)
社会福祉学科	33 (29)	31 (26)	33 (31)	34 (31)	131(117)
看護福祉学部計	88 (78)	86 (76)	87 (80)	90 (83)	351(317)
全学部計	493(258)	465(244)	470 (240)	458 (241)	1,886(983)

※（ ）は女子人数

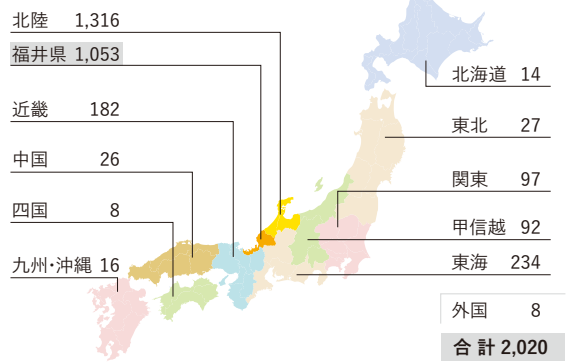
▶ 大学院学生数（令和6年5月1日現在）

博士前期課程・修士課程		1年	2年	計
経済・経営学研究科	地域・国際経済政策専攻	2 (2)	3 (0)	5 (2)
	経営学専攻	6 (1)	10 (5)	16 (6)
生物資源学研究科	生物資源学専攻	19 (7)	11 (5)	30 (12)
	海洋生物資源学専攻	15 (2)	15 (7)	30 (9)
看護福祉学研究科	看護学専攻	4 (2)	3 (2)	7 (4)
	社会福祉学専攻	4 (2)	10 (5)	14 (7)
合 計		50(16)	52(24)	102(40)

博士後期課程		1年	2年	3年	計
経済・経営学研究科	経済研究専攻	2 (1)	1 (0)	1 (1)	4 (2)
生物資源学研究科	生物資源学専攻	10 (2)	1 (0)	3 (1)	14 (3)
	海洋生物資源学専攻	2 (0)	0 (0)	3 (1)	5 (1)
健康生活科学研究科	健康生活科学専攻	4 (2)	5 (4)		9 (6)
合 計		18(5)	7(4)	7(3)	32(12)

※（ ）は女子人数

▶ 出身地域別学生数（学部・大学院）



▶ 専任教員数（令和6年5月1日現在）

学 部 等	学長・副学長	教授	准教授	助教	計
学長・副学長	3				3
経済学部／経済・経営学研究科		17	11	3	31
生物資源学部／生物資源学研究科		16	14	1	31
海洋生物資源学部／生物資源学研究科		15	14	1	30
看護福祉学部／看護福祉学研究科		21	11	13	45
健康生活科学研究科					
芸術教養センター		10	7		17
情報センター		1	3	1	5
国際センター準備室		1	1		2
地域経済研究所		5	3		8
地域連携本部		1			1
恐竜学研究所		3	2	1	6
キャリアセンター			1		1
計	3	90	67	20	180

〔発行〕公立大学法人 福井県立大学 2024年(令和6年)5月

ACCESS MAP



■ 永平寺キャンパス
〒910-1195
福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-61-6000(代)
FAX 0776-61-6011

〈バス〉
京福バス福井駅西口バスターミナル
大学病院線「県立大学」下車
(所要時間約40分)
〈乗用車〉
福井駅より約20分
北陸自動車道 福井北ICより約10分



■ あわらキャンパス
〒910-4103
福井県あわら市二面88-1
TEL 0776-77-1443(代)
FAX 0776-77-1448

〈乗用車〉
芦原温泉駅より約15分
北陸自動車道 金津ICより約15分



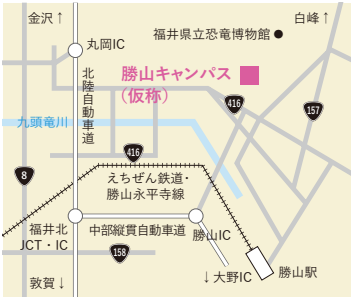
■ 小浜キャンパス
〒917-0003
福井県小浜市学園町1-1
TEL 0770-52-6300(代)
FAX 0770-52-6003

〈バス〉
小浜駅よりあいあいバスで約10分
「西津公民館前」下車徒歩15分
〈乗用車〉
小浜駅より約10分
舞鶴若狭自動車道 小浜ICより約5分



■ かつみキャンパス
〒917-0116
福井県小浜市堅海49-8-2
TEL 0770-52-7305(代)
FAX 0770-52-7306

〈バス〉
小浜駅よりあいあいバスで約20分
「堅海」下車
〈乗用車〉
小浜駅より約20分
舞鶴若狭自動車道 小浜ICより約20分



■ 勝山キャンパス（仮称）
〒911-0025
福井県勝山市村岡町五本寺17-15

〈電車・バス〉
えちぜん鉄道 勝山駅よりバスで約15分
「恐竜博物館」下車
〈乗用車〉
福井駅より約50分
中部縦貫自動車道 勝山ICより約10分

